

MTU2400F  
ユーザーズマニュアル

**canopus**

## ご使用の前に

### ■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。

### 警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。

### 注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。

### ■絵表示の意味



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならないことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

### ■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意くださいいただきたい事柄について説明しています。

### 警告

#### ●健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

#### ●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。

#### ●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずパソコン本体や周辺機器の筐体(電源ユニットなど)、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。

#### ●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください(体内の静電気を放電することになります)。

### 注意

#### ●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧ください。メーカーに直接お問い合わせいただいております。

#### ●他社製品と併用される際の注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境でご購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によってご購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品とご購入製品との併用はお止めください。

#### ●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けしてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。

製品を取り扱うときは手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。

## ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) Microsoft、Windows、Windows Media、およびInternet Explorerは米国マイクロソフト・コーポレーションの商標または登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。
- (9) iEPGおよびiEPGロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- (10) AdobeおよびAdobe Premiereは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標です。
- (11) MediaArtistは松下電器産業株式会社の登録商標です。

## 表記について

- 本書はアプリケーションの操作方法について説明しています。
- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキスト

ファイルも必ずお読みください。

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 本書ではMicrosoft® Windows® 2000 operating system、Microsoft® Windows®XP、Windows Media VideoをWindows 2000、Windows XP、WMVと表記します。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。

## 警告

### ■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

### ■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

### カノープス株式会社

〒651-2241

神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL.078-992-6830(10:00～12:00、13:00～17:00)

※土、日、祝日および当社指定休日を除く

MTU2400F

ユーザーズマニュアル

April 22, 2004

Copyright © 2002-2004 Canopus Co., Ltd.

All rights reserved.

# もくじ

## 第1章 確認

1-1 はじめに	2
使用許諾契約書について	2
ご使用に当たっての留意事項	2
パッケージ内容の確認	3
オンラインユーザー登録について	4
当社ホームページについて	4
1-2 動作環境の確認	5
パソコン本体について	5
対応OS環境	5
制限事項について	6

## 第2章 パソコンにインストールしよう

2-1 ソフトウェアをインストールする	8
インストールの準備	8
一括インストール	9
CiRAgentの設定	17
2-2 インストール後の確認をする	21
確認の手順	21
■Windows 2000の場合	21
■Windows XPの場合	22
2-3 MpegCraft LEをインストールする	23
2-4 ソフトウェアを削除する	26
2-5 ソフトウェアの操作について	28
■ユーザーズマニュアル(PDF形式)	28
■オンラインヘルプ	28

## 第3章 ユニットの接続

---

3-1	MTU2400Fの配線と接続	30
	装着前の確認	30
	台座を取り付ける	31
	MTU2400ユニット接続コネクタの名称と機能	32
	■フロント部	32
	■リア部	33
	MTU2400ユニットの接続	34
	TV用アンテナ線の接続	35
	■壁面にアンテナ端子が付いている場合	35
	■アンテナ線が1本の場合	35
	■アンテナ線が2本の場合	35
	■アンテナ線に平行フィーダー線を使用している場合	35
	カバーを取り外す	36
	MTU2400ユニットとビデオ入力端子の接続	37
	MTU2400ユニットとオーディオ入力端子の接続	37

## 第4章 MTU2400Fを使う前に

---

4-1	MTU2400Fでできること	40
4-2	コントロールソフト「FEATHER2004」について	41
	■録画再生コントロールボタンについて	43

## 第5章 使ってみよう

---

5-1	FEATHER2004を起動する	46
5-2	基本操作をする	47
	基本操作	47
5-3	パソコンでテレビを見る	49
	チャンネルを設定する	49
	CiRAgentのチャンネル設定(地域設定)	53
	テレビ番組を表示する	54
	大事な場面を見逃さずに見る(タイムシフト)	55
	録画中にすでに録画した映像を見る(追っかけ再生)	60
	ビデオの映像を見る	63

5-4	録画する	64
	テレビやビデオの映像を録画する	64
5-5	録画予約する	66
	テレビ番組を録画予約する	66
	■FEATHER2004のスケジュール機能を利用して録画予約する	66
	■番組表をマウスで操作する	69
	■番組表をリモコンで操作する	71
	■予約内容を確認・変更する	73
	■CiRAgentを利用して外出先から録画予約する	76
5-6	録画した映像を見る	78
	映像ファイルを再生する	78
	MEDIA LIBRARYを使いこなす	79
	■ファイルを追加登録する	79
	■ファイルを分類する	80
	■ファイルを削除する	82
	■フォルダを削除する	83
	■データベースを管理する	84
	MEDIA LIBRARYについて	85
	■[MEDIA LIBRARY]画面	85
	■ファイル上での右クリックメニュー	86
	■ルートカテゴリにあるフォルダ上での右クリックメニュー	87
5-7	静止画をキャプチャする	88
	静止画をキャプチャする	88
5-8	DVDを再生する	90
	DVDを再生する	90

## 第6章 FEATHER2004を使いこなそう

---

6-1	メニューリストから操作する	96
	視聴に関する操作をする	97
	録画に関する操作をする	98
	画面に関する操作をする	99
	そのほかの項目について	100
6-2	[FEATHER設定]画面から設定をする	101

[FEATHER設定]画面について .....	101
設定項目について .....	103
■[ビデオ入力設定] .....	104
■[Sビデオ入力設定] .....	105
■[チューナー入力設定] .....	106
■[ダイレクトプレビュー] .....	107
■[ファイル再生] .....	108
■[表示位置] .....	109
保存先の設定をする .....	110
■[保存先] .....	110
タイムシフトの設定をする .....	111
■[タイムシフト] .....	111
エンコードの設定をする .....	112
■[録画] .....	112
■[HW-MPEG設定 (MTU)] .....	113
■[ビデオ]－HW-MPEG設定の詳細－ (MTU) .....	114
■[オーディオ]－HW-MPEG設定の詳細－ (MTU) .....	115
■[ファイル拡張子] .....	116
DVD再生の設定をする .....	117
■[DVD再生] .....	117
音量の設定をする .....	118
■[音量/ミュート] .....	118
そのほかの設定について .....	119
■[ファイル関連付け] .....	119
■[その他] .....	120
パネルデザインの設定をする .....	121
■[パネルデザイン] .....	121

## 第7章 付録

---

7-1 各設定項目をもっと詳しく .....	124
7-2 ハードウェア仕様 .....	130
7-3 索引 .....	132

# 第1章

## 確認

---

この章では、MTU2400Fのセットアップを行う前に確認していただきたい事項やご注意いただきたい事項について説明します。

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。



## 1-1 はじめに

### 使用許諾契約書について

MTU2400Fをご購入いただき、ありがとうございます。本製品をお使いいただくにあたって、まずはじめに付属の『Support Service Manual』のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。本製品に付属のソフトウェアをご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。この使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がありましたら、本書以外のパッケージを開封せずに下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

このソフトウェア使用許諾契約は、お客様が『ディスクが入っている封筒』を開封された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。また、バンドルされているソフトウェア単体の譲渡はできません。

カノープス カスタマーサポート

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2 カノープス株式会社

### ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的および当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

## パッケージ内容の確認

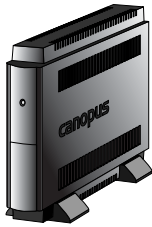
MTU2400Fのパッケージの中に、下記の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一、不足しているものがありましたら下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

### カノープス カスタマーサポート

電話:078-992-5846 ※ 月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00  
土日祝日および当社指定休日を除く

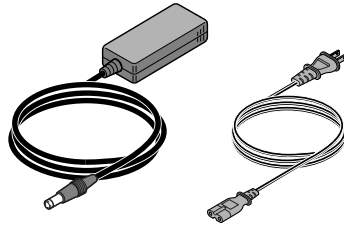
### ■ MTU2400F 同梱物

#### MTU2400 ユニット

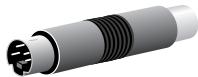


※出荷時には、台座は取り外されています。

#### ACアダプタ&ケーブル



#### ピンジャック変換コネクタ



#### 各種ケーブル

•USBケーブル

#### ディスク/バンドルソフトウェア

MTU2400Fをお使いいただくためのドライバやアプリケーションなどが付属しています。これらは、封筒の中に収められています。この封筒を開封する前に、別途付属している『Support Service Manual』の中のソフトウェア使用許諾契約の項目をお読みください。

#### マニュアル

- MTU2400F ユーザーズマニュアル(本書)
- Support Service Manual

---

---

## ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼製品保証書

---

---

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください(ご登録いただけていない場合には、一部のサービスについてお受けいただけないものがございます)。当社よりご提供させていただいているサービスについては『Support Service Manual』をご覧ください。

ユーザー登録カードの各項目に必要な事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離れたユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくは『Support Service Manual』およびオンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)をご覧ください。

本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼製品保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要になります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

## オンラインユーザー登録について

お客様がインターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録カードをご投函いただくかなくとも当社ホームページ上でユーザー登録することができます。オンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)にアクセスしていただき、是非ご登録ください。

## 当社ホームページについて

MTU2400Fをはじめとする当社の最新情報をホームページ(<http://www.canopus.co.jp>)にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル(PDF形式)、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスしていただき、快適なパソコン環境を実現してください。

## 1-2 動作環境の確認

本製品をお使いいただく前に、MTU2400Fを接続してお使いいただけるパソコン本体の環境を確認してください。

### パソコン本体について

以下の条件を満たしている場合でも、パソコン本体の問題によって正常に動作しない場合があります。以下に書かれている条件を満たしているすべてのパソコンでの動作を保証しているものではありません。

CPU	Intel Pentium III, Pentium 4, Celeron, AMD Athlon, AMD Duron (Pentium III 866MHz(標準画質で録画が可能)同等またはそれ以上の性能を持ったCPUが必要)
USBポート	USB 1.1または2.0対応のもの ※USB 1.1では、ビットレートは6Mbps程度が上限になります (お使いのパソコン環境によって異なります)。
CD-ROMドライブ	ソフトウェアのセットアップに必要です。
ハードディスク	Ultra ATA 66以上の転送速度を持つドライブで、NTFSファイルシステムでフォーマットされたもの インストールには約100MBの空き容量が必要です。
サウンドシステム	PCI または USB接続、もしくはオンボード接続されたもの(48kHz出力に対応するものを推奨)
メモリ	128 MB以上(256 MB以上推奨)
ディスプレイカード	800x600ドットHighColor以上の解像度を表示でき、DirectDrawのオフスクリーンによるオーバーレイに対応したもの (リモコン対応EPGを使用する場合1024x768以上必要)
DirectX	DirectX 9.0b(添付CDに付属)

※お使いのパソコンによっては、ビデオ表示、調整機能、キャプチャ機能等が制限される場合があります。

※USB 1.1ではダイレクトプレビュー機能を使用できません。

### 対応OS環境

- マイクロソフト Windows 2000 Professional日本語版
- マイクロソフト Windows XP Home Edition日本語版
- マイクロソフト Windows XP Professional日本語版

---

## 制限事項について

### ■ 再生中の動作について

ハードディスクのシークなどによる音の途絶・画像のコマ落ちが発生する場合があります。再生時のパフォーマンスは、お使いのパソコン環境により異なります。

## 第2章

# パソコンにインストールしよう

---

この章では、MTU2400Fのドライバとアプリケーションのインストール方法について説明します。

## 2-1 ソフトウェアをインストールする

### インストールの準備

インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。



MTU2400ユニットを接続する前に、MTU 2400Fソフトウェアのインストールを行ってください。



CRMシリーズリモコン(オプション)と併用する場合には...  
CRMシリーズリモコンを装着した状態でインストールを行ってください。  
CRMシリーズリモコンを装着せずにインストールを行った場合、CRMシリーズリモコンを使用するためのアプリケーション(Canopus RC Manager)は常駐しません。この場合、手動で[Program Files]の[Canopus]→[FEATHER]を開き、[RcMan.exe]を起動するか、パソコンの再起動を行ってください。



Windows XP環境において、ユーザーの切り替え([スタート]メニューから[ログオフ]へ進み、[ユーザーの切り替え]を選択)を行った場合の動作保証はいたしかねます。

## 一括インストール

MTU2400Fに関連するアプリケーションを一括でインストールします。  
Windows 2000/Windows XPとも同様の手順でインストールを行います。ここでは、Windows XP環境へのインストールを例に説明します。

- ※お使いのOSにより画面は異なります。
- ※インストールする場合は、システム設定の変更を行える資格をもつユーザーID (Administrator、コンピュータの管理者等)でログオンしてください。
- ※インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。
- ※コンピュータウィルスの駆除ソフトウェアをインストールしている場合は一時的に常駐を解除(無効)してください。インストール完了後、元の状態に戻してください。

1

『MTU2400Fドライバ&ソフトウェアインストールCD』をCD-ROMドライブにセットします。



すべてのインストールが終了するまで『MTU2400Fドライバ&ソフトウェアインストールCD』をCD-ROMドライブから取り出さないでください。

2

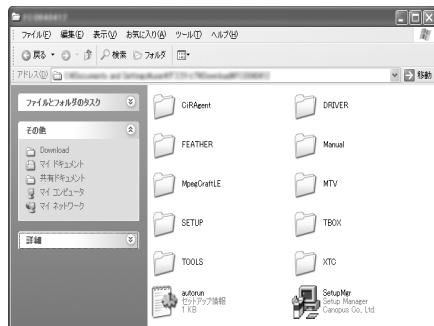
CD-ROMが自動起動し、CDの内容を表示します。

※ CD-ROMが自動起動しない場合は、[スタートメニュー]から[すべてのプログラム] (Windows2000環境は[プログラム])→[アクセサリ]→[エクスプローラ]と進んで『エクスプローラ』を起動し、CD-ROMを挿入したドライブを選択して開いてください。

3

[SetupMgr.exe]をダブルクリックします。

→ セットアップする製品の選択画面が表示されます。





4

[はい]をクリックします。



一括インストール時には、次のインストール画面が表示されます。



インストール中にこの画面を閉じると、インストール作業を中止してしまいますので、すべての作業が完了するまで画面を閉じないようにしてください。

5

[はい]をクリックします。



6

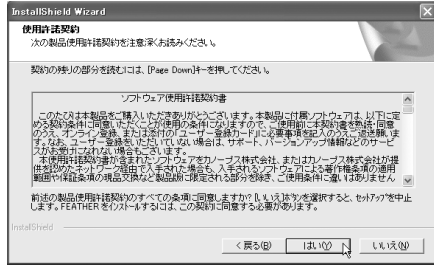
[次へ]をクリックします。



7

使用許諾契約が表示されますので内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[はい]をクリックします。使用許諾契約に同意されない場合は、[いいえ]をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

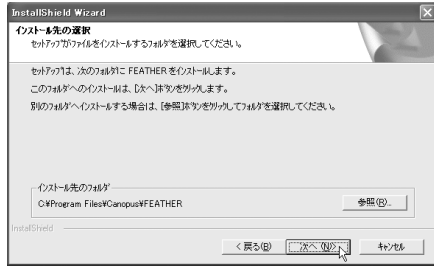
※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



8

[次へ]をクリックします。

※ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



9

[次へ]をクリックします。

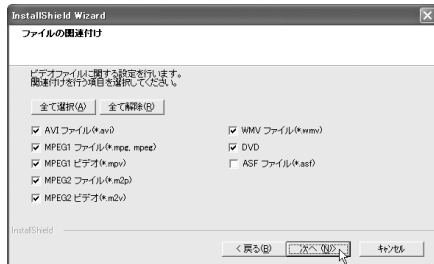
※ プログラムフォルダを変更する場合は、既存のフォルダから選びます。



10

FEATHER2004に関連付けを行う項目を選択します。

※ 選択可能な項目は、お使いの環境により異なります。



11

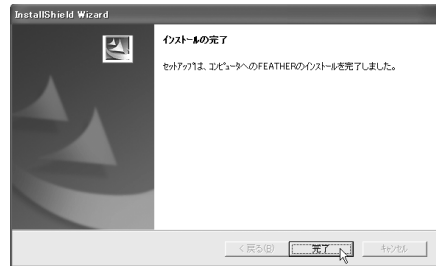
[次へ]をクリックします。

※ デスクトップにショートカットアイコンを配置しない場合にはチェックをはずします。



12

[完了]をクリックします。



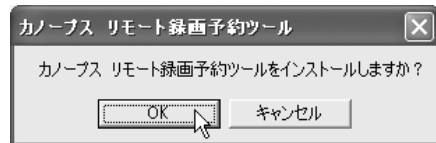
13

[OK]をクリックします。



14

[OK]をクリックします。



CiRAgentはインターネットを經由して外部からの予約録画を行うリモート予約録画ツールです。通常のiEPGを利用した予約録画には使用されません。携帯電話や他のパソコンからの予約録画を利用しない場合は[キャンセル]をクリックしてインストールをスキップしてください。

15

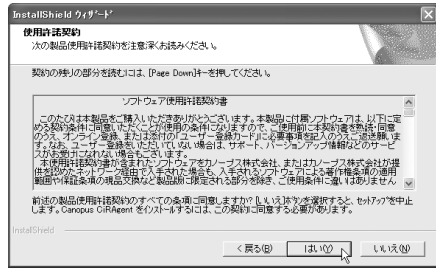
[次へ]をクリックします。



16

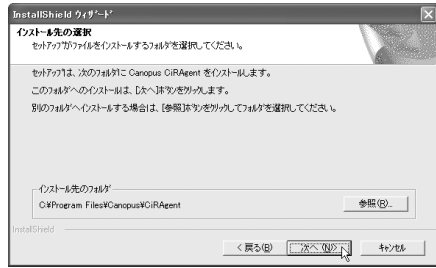
使用許諾契約が表示されますので内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[はい]をクリックします。使用許諾契約に同意されない場合は、[いいえ]をクリックし、インストール作業を中断して当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



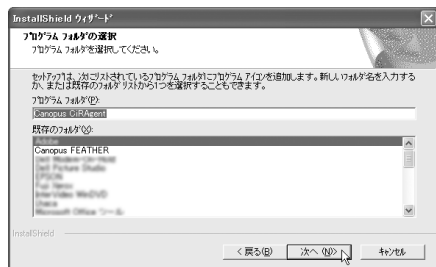
17

[次へ]をクリックします。  
※ インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックし、フォルダを指定してください。



18

CiRAgentのアイコンを登録するフォルダを選択して[次へ]をクリックします。



19

[完了]をクリックします。



20

[OK]をクリックします。



21

アプリケーションのインストール完了後、USBケーブルをコンピュータのUSBポートに接続します。

※ 詳しい接続方法については34ページの「MTU2400ユニットの接続」を参照してください。

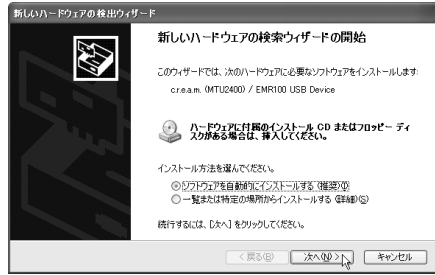


USB 1.1等のHi-Speed USB 2.0に対応していないUSBポートに接続した場合、以下のダイアログが表示されることがあります(お使いの環境により異なります)。**[閉じる]**をクリックしてください。



22

MTU2400ユニットを認識し、検索ウィザードが表示されます。[ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

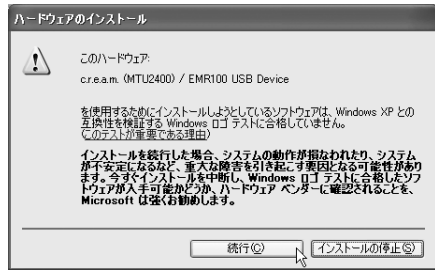


Windows 2000環境の場合、USBポートにMTU2400を接続すると以下のダイアログが表示されますので[完了]をクリックしてください。[完了]をクリックするとインストール作業は完了です。



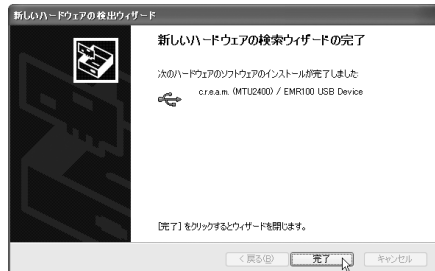
23

[続行]をクリックします。



24

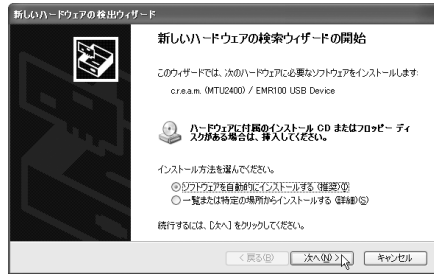
[完了]をクリックします。



2-1  
ソフトウェアをインストールする

25

[ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。



26

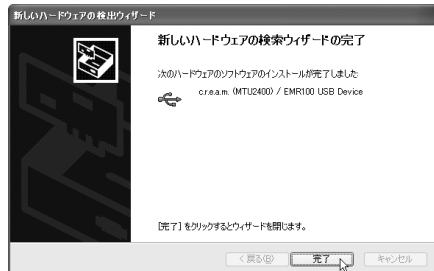
[続行]をクリックします。



27

[完了]をクリックします。

→ 以上で一括インストールは完了です。



## CiRAgentの設定

CiRAgentをインストールした後、各種設定を行います。ここでは、WindowsXP環境を例に説明します。

※本文中のアドレスは予告無く変更されることがあります。

### 1

インターネットで「テレビ王国」へ接続し、ユーザー登録をします。

→ 「テレビ王国」のURLは「http://www.so-net.ne.jp/tv/」です。iモードをご使用になる場合のURLは「http://imode.so-net.ne.jp/tv/」です。

→ ユーザー登録の手順については、「テレビ王国」ホームページのトップページにある「メンバーサービス登録設定」をご覧ください。

### 2

[スタート]メニューから[すべてのプログラム]へ進み、[Canopus CiRAgent]から[Canopus CiRAgent設定]を選択します。

※ Windows 2000環境では、[スタート]メニューから[プログラム]へ進み、[Canopus CiRAgent]から[Canopus CiRAgent設定]を選択します。

### 3

ユーザー名とパスワード、パスワードの確認入力を入力し、[OK]をクリックします。

※ ユーザー名とパスワードとは、Windowsにログオンするためのユーザー名とパスワードのことです。

※ FEATHER2004録画予約での設定内容を共有するため、FEATHER2004録画予約で設定していると(66ページ参照)、設定画面は表示されません。FEATHER2004の設定を変更したときは、「Canopus CiRAgent設定」を一度起動してください。



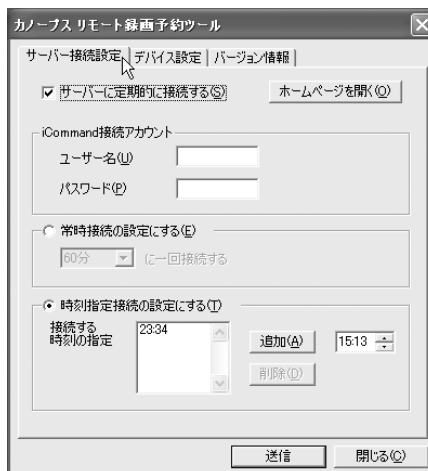


## 4

[サーバー接続設定]タブをクリックし、「サーバーに定期的に接続する」をチェックします。

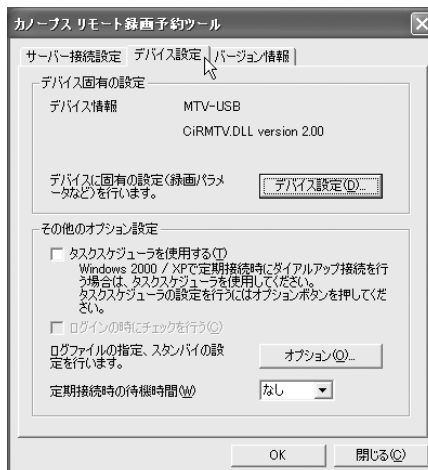
- ・ iCommand 接続アカウント  
「テレビ王国」で登録した「ユーザー名」「パスワード」を入力します。
- ・ 常時接続の設定にする  
設定した間隔でサーバーにアクセスします。
- ・ 時刻指定接続の設定にする  
サーバーにアクセスする時間を指定します。右の時刻指定ボックスにアクセスする時間を入力し、[追加] ボタンをクリックします。アクセスする時間を削除する場合は、時間を選び、[削除] ボタンをクリックします。

※ [時刻指定接続の設定にする]を選択した場合  
時刻の指定を追加する時に「0、10、20、30、40、50分」は設定できません。(例:「23:30」は設定できません。)



## 5

[デバイス設定]タブをクリックし、デバイス設定に関する設定を行います。



- ・ **タスクスケジューラを使用する**  
タスクスケジューラを使用するときには、ユーザー名とパスワードが必要です([オプション]ウィンドウの[タスクスケジューラの設定]タブ)。CiRAgentの定期的な接続には、リモート録画予約サービスとして動作します。ただし、ダイアルアップ環境では、タスクスケジューラを使用する必要があります。
- ・ **ログインの時にチェックを行う**  
タスクスケジューラを使用する場合、スタートアップでサーバーへの接続を行うことができます。この設定を行わない場合、再起動時にサーバーから得られる「次回接続時間」の情報が古いままになります。この情報は、一度サーバーへの接続が行われたときに更新されます。  
なお、タスクスケジューラを使用しない場合は、サービス起動後数分以内に自動的に接続を行います。
- ・ **定期接続時の待機時間**  
定期接続時間までの待機時間を設定します。

### ●デバイス設定

[デバイス設定]をクリックすると、「MTV設定」ウィンドウが開きます。

- ・ **録画品質の割り当て**  
[設定]をクリックすると「録画設定」ダイアログが開きます(20ページ参照)。
- ・ **録画ファイルの保存先**  
録画ファイルの保存先を指定します。[...]をクリックすると「フォルダの参照」ダイアログが起動します。
- ・ **録画条件**  
録画条件の設定を行います。
- ・ **地域選択**  
選択できる地域は、FEATHER2004で選択可能な地域とは異なります。チャンネルの設定は[FEATHERから取得]を選択して行うことをお勧めします(53ページ参照)。



サーバー側に情報が残っている状態で地域を変更した場合、一時的に処理ができなくなることがあります。必ず、サーバー側に情報が残っていないことを確認してから変更してください。



CiRAgentを使用する場合はチャンネル設定が必要です。チャンネル設定の方法は53ページを参照してください。

### ・録画形式

録画する形式を選択します。初期設定では「MPEG」が選択されています。



### ●オプション

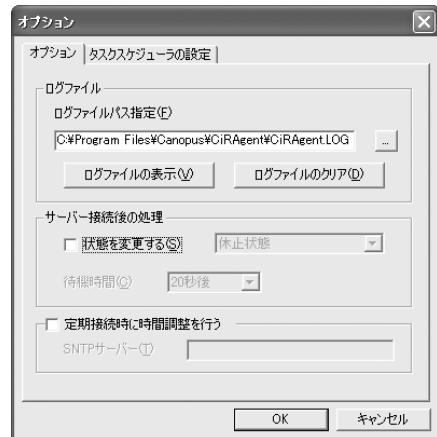
[オプション]をクリックすると、「オプション」ウィンドウが開きます。

#### ・サーバー接続後の処理

CiAgentがサーバーに接続した後に電源状態を変更する場合、設定します。

#### ・定期接続時に時間調整を行う

CiAgentがサーバーに接続した時に時刻調整も行う場合、設定します。時刻調整用のSNTPサーバーを指定する必要があります。



6

設定後は[OK]をクリックし、その後は画面の指示に従って設定します。

以上で、CiAgentの設定は完了です。



設定後は、正しく予約・録画できるかをテストしてください。(66ページ参照)



Dolby Digitalアップグレードのセットアップ(オプション)を行う場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム](Windows 2000環境ではプログラム)→[Canopus FEATHER]→[MTU Dolby Digital Upgrade Setup]を選択します。

『MTU2400 AC-3 upgrade Kit CDをドライブにセットしてください』のメッセージが表示されますので、「MTU2400 AC-3 Upgrade Kit」CD(別売オプション)をCD-ROMドライブにセットして、[開始]をクリックしてください。

## 2-2 インストール後の確認をする

ドライバ、アプリケーションのインストールを完了し、再起動後にドライバが正常にインストールされたかを確認してください。

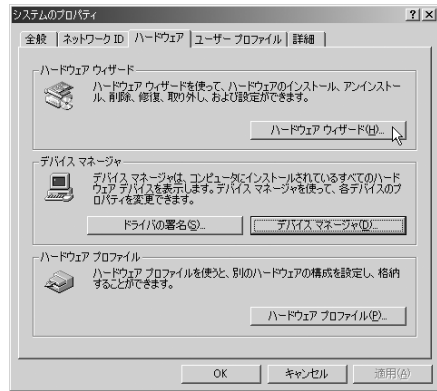
### 確認の手順

#### ■ Windows 2000 の場合

1

[スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックします。

→ [システムのプロパティ]が表示されます。[ハードウェア]タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックしてください。

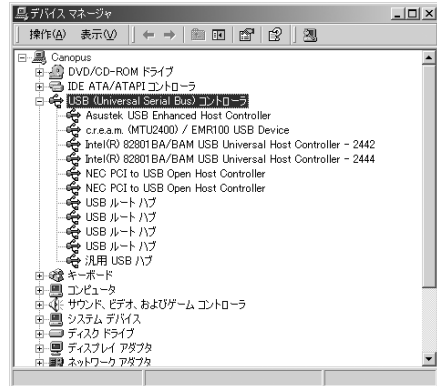


2

[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリックします。

→ [c.r.e.a.m.(MTU2400)/EMR100 USB Device]の頭に『!』や『×』のマークが表示されている場合、MTU 2400Fのドライバが正常にインストールされていません。

※ 再インストールをお試しください。



## ■ Windows XP の場合

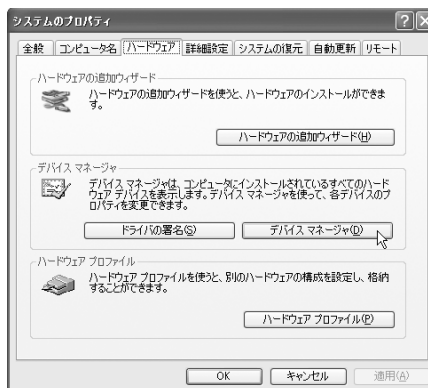
1

[スタート]メニューの[コントロールパネル]から[パフォーマンスとメンテナンス]へ進み、[コンピュータの基本的な情報を表示する]を選択します。

→ または[スタート]メニューのマイコンピュータ上で右クリックし、[プロパティ]を選択してください。

2

[ハードウェア]タブを選択し、[デバイス マネージャ]をクリックします。



3

[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]をダブルクリックします。

→ [c.r.e.a.m.(MTU2400)/EMR100 USB Device]の頭に『!』や『×』のマークが表示されている場合、MTU 2400Fのドライバが正常にインストールされていません。

※ 再インストールをお試しください。



## 2-3 MpegCraft LEをインストールする

MpegCraft LEをインストールすると3つのソフトウェアがインストールされます。

### MpegCraftLE:

フレーム単位やGOP単位でMPEGファイルをカット編集することができます。また、複数のMPEGファイルを結合して出力することもできます。

使用できるMPEGファイルは音声と映像が多重化されたもの(MPEG1システムストリームとMPEG2プログラムストリーム)のみです。

### HE Explorer for MpegCraftLE:

ファイル管理ソフトウェアです。MPEGファイルの詳細情報を一覧表示したり、プレビュー画面で簡易再生することができます。

### to MPEG Tool:

MPEG ファイルのビットレートを変換したり、Canopus DV形式やMicrosoft DV形式のAVI ファイルをMPEGファイルに変換することができます。また、MPEGファイルの音声と映像を分離したり、多重化することができます。



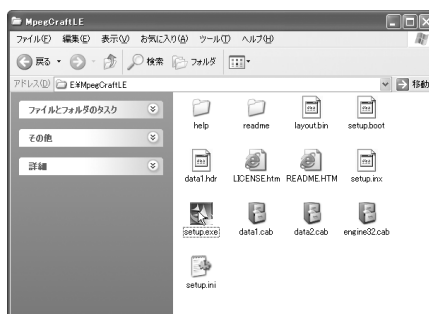
「MpegCraft」、または「MpegCraftDVD」をすでにご使用の場合は、インストールする必要はありません。



MpegCraft LEの使用方法は、ユーザーズマニュアルやオンラインヘルプを参照してください。参照方法は「2-5 ソフトウェアの操作について」28ページをご覧ください。

# 1

『MTU2400F ドライバ&ソフトウェアインストールCD』内の[MpegCraftLE]フォルダから、[setup.exe]をダブルクリックします。



2

[次へ]をクリックします。



3

使用許諾契約が表示されますので内容をよくお読みの上、同意される場合のみ[使用許諾契約の全条項に同意します]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。

使用許諾契約に同意されない場合は、[キャンセル]をクリックし、当社カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

※ 使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



4

[次へ]をクリックします。

※ インストール先のフォルダを変更する場合は、[変更]をクリックし、フォルダを指定してください。



5

Canopus MpegCraftLEのアイコンを登録するフォルダを選択し、[次へ]をクリックします。



6

[インストール]をクリックします。



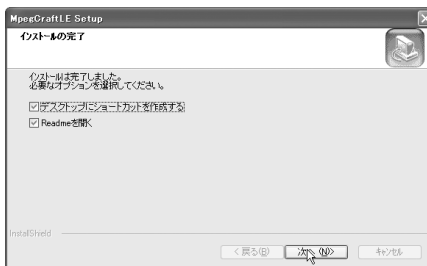
7

[次へ]をクリックします。

※ デスクトップにショートカットを作成しない場合はチェックを外します。

はじめてインストールした場合は、Readmeファイルを必ず読むようにしてください。マニュアルには書かれていない重要な情報が記載されています。

→ [デスクトップにショートカットを作成する]にチェックを入れた場合は、手順8へ続きます。



8

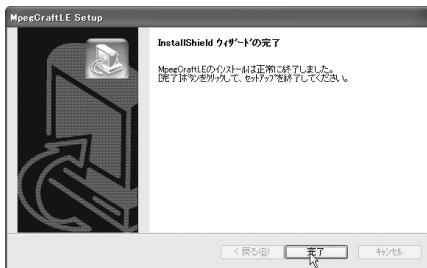
[次へ]をクリックします。

※ ショートカットを作成しない場合はチェックを外します。



9

[完了]をクリックします。



以上でMpegCraft LEのインストールは完了です。



## 2-4 ソフトウェアを削除する

MTU2400Fのアプリケーションを使用しなくなった場合、アンインストールすることができます。アプリケーションのアップデートを行う場合は、アンインストール後に新しいアプリケーションのインストールを行うようにしてください。ここでは、Windows XP環境でのアンインストールを例に説明します。

※アンインストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。

※Windows 2000/Windows XP環境へアンインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザーID(Administrator、コンピュータの管理者等)でログオンしてください。

1

[スタート]メニューから[マイコンピュータ]へ進み、システムのタスクから[プログラムの追加と削除]をクリックします。

2

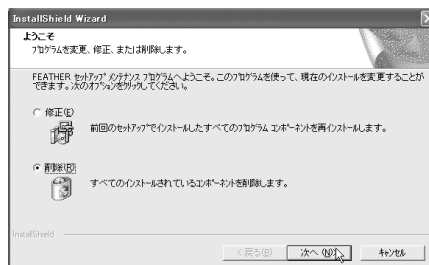
削除できるソフトウェアの一覧が表示されますので、[Canopus CiRAgent]、[Canopus FEATHER]を選択し[変更と削除]をクリックしてください。

※ここでは[Canopus FEATHER]を選択しています。



3

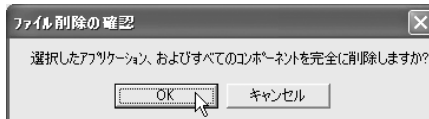
[削除]を選択し、[次へ]をクリックします。



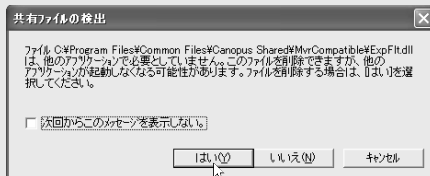
4

ファイル削除確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

→ アンインストールを開始します。

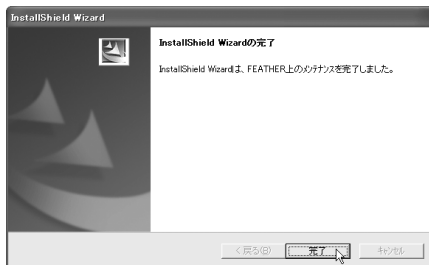


アンインストール中に[共有ファイルの検出]画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。



5

[完了]をクリックします。



6

[閉じる]をクリックします。

→ アンインストールは完了です。



アンインストールを行っても録画予約の内容は残りますが、録画はできません。

## 2-5 ソフトウェアの操作について

アプリケーションソフトウェアの操作については、本製品付属のCD-ROMに収録されているユーザーズマニュアル、またはオンラインヘルプをご覧ください。

### ■ ユーザーズマニュアル（PDF形式）

FEATHER2004とMpegCraft LEのユーザーズマニュアルは、本製品付属のCD-ROMの中の「Manual」フォルダ内に収録されています。

- MpegCraft LE→「MpegCraft(J). pdf」
- FEATHER2004→「FEATHER2004ユーザーズマニュアル. pdf」(対応製品共通マニュアル)

※ ユーザーズマニュアル(PDF形式)をご覧になるには Adobe Readerが必要です。

お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされていない場合は、本製品付属のCD-ROMの[TOOLS]→[Adobe Reader]フォルダから [AdbeRdr60\_jpn\_full.exe]を実行してください。Adobe Readerのインストールが開始されます。

### ■ オンラインヘルプ

MpegCraft LE、HE Explorer for MpegCraftLE、to MPEG Toolのメニューや操作画面については、アプリケーションソフトウェアのヘルプを参照してください。

MpegCraft LE:

- Windowsの[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]→[Canopus MpegCraftLE]と進み、[HELP]をクリックします。
- MpegCraft LEの操作画面から、メニューバーの[ヘルプ]から[ヘルプ]を選択します。
- MpegCraft LEの操作画面から、ツールバーの[?]ボタンをクリックします。

HE Explorer for MpegCraftLE:

- HE Explorer for MpegCraftLEの操作画面から、メニューバーの[ヘルプ]から[ヘルプ]を選択します。
- HE Explorer for MpegCraftLEの操作画面から、ツールバーの[?]ボタンをクリックします。

to MPEG Tool:

to Mpeg Toolの操作画面表示中に、キーボードの[F1]キーを押します。

※ MpegCraft LEやHE Explorer for MpegCraftLEも上記の方法でオンラインヘルプを表示することができます。

# 第3章

## ユニットの接続

---

この章では、MTU2400Fの配線と接続について説明します。

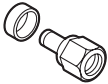
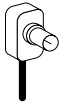

## 3-1 MTU2400Fの配線と接続

MTU2400Fの配線と接続方法について説明します。

### 装着前の確認

テレビ受信用のアンテナとアンテナケーブルをご用意ください。

アンテナケーブルは、市販されている以下のような形状のコネクタがついたものを使用してください。コネクタプラグやアンテナケーブルは本製品に付属していませんので、ご使用のアンテナ線にあわせて別途お買い求めください。

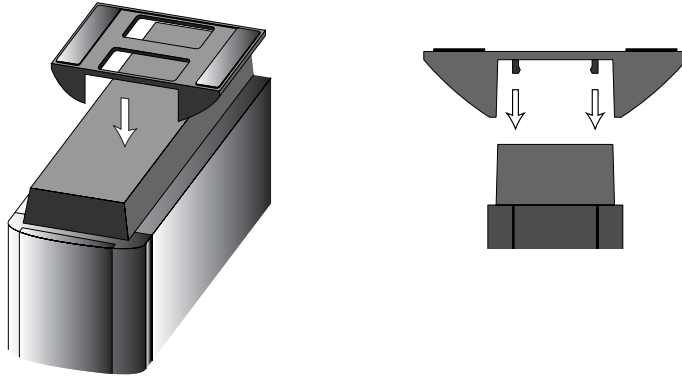
	 F型コネクタプラグ	 アンテナコンセントプラグ	 アンテナ端子一体型ケーブル
画質の良さ	○	△	◎



MTU2400ユニットの動作中および動作直後は、ユニット本体が熱くなっていますので、お取り扱いにはご注意ください。  
ユニットが熱くなっても製品の異常ではありません。

## 台座を取り付ける

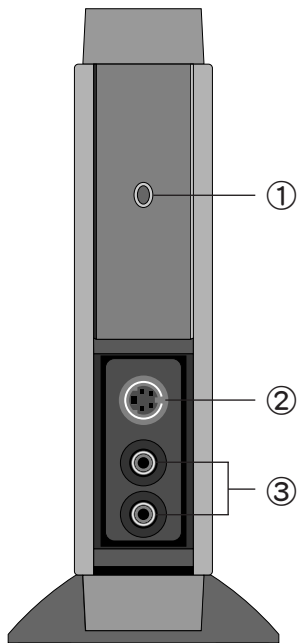
たて置きにする場合、MTU2400ユニットに台座を取り付けます。MTU2400ユニットを裏向けにし、台座のツメとMTU2400ユニットの通気孔が合うように装着してください。



※ 台座を取り外す場合は上記と逆の手順で、ツメを折らないように注意しながら台座を取り外してください。

## MTU2400 ユニット 接続コネクタの名称と機能

### ■ フロント部



#### ① POWER LED

ユニットが通電中の時に赤色、または緑色に点灯します。

赤色： MPEG圧縮(エンコード)動作中であることを表します。

緑色： 予約録画の待機時間中などMPEG圧縮(エンコード)の待機中であることを表します。

#### ② Sビデオ/コンポジットビデオ入力端子

映像ソースを入力するSビデオ接続端子です。接続時は、端子の形状をよくご確認ください。コンポジットビデオ信号入力を行う場合は、付属のピンジャック変換コネクタをこの端子に接続してご使用ください。

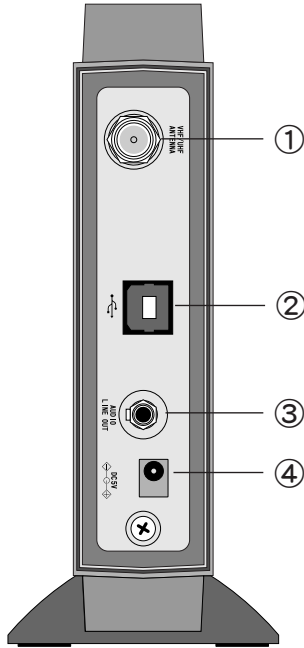
#### ③ オーディオ入力端子(左/右)

音声ソースを入力する接続端子です。赤色の端子は右、白色の端子は左です。



フロント部およびリア部に接続したケーブル類のとり回しおよびMTU2400ユニット本体の設置場所には十分ご注意ください。ケーブル類に引っかかるなどの要因により、MTU2400ユニット本体が落下してけがをする恐れがあります。また、MTU2400ユニット本体の落下は故障の原因となります。

## ■ リア部



## ①TV アンテナ接続端子

TV受信用アンテナの接続端子です。アンテナについては35ページを参照してください。

## ②USB 端子

USBケーブルを使用し、パソコンのUSBポートと接続する端子です。

## ③LINE OUT 端子

ダイレクトプレビュー時に音声出力されます。

## ④AC アダプタ接続端子

付属のACアダプタ接続端子です。本製品はUSB接続のみでは動作しませんので、ACアダプタもあわせて必ずご使用ください。

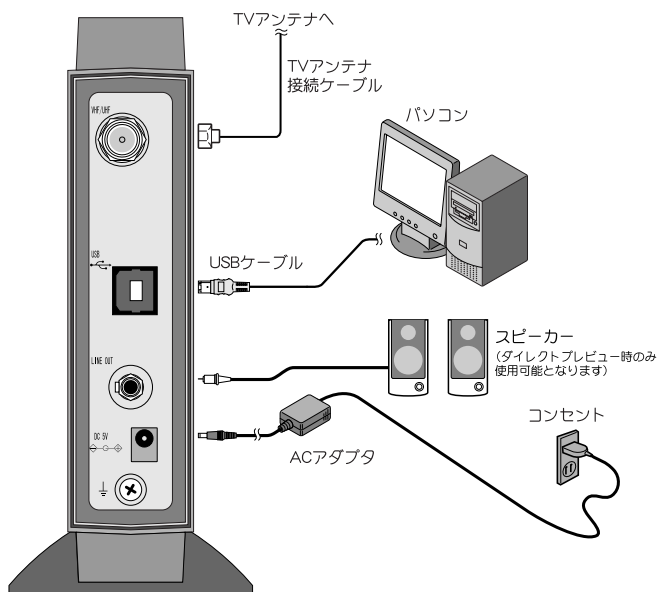


製品付属のACアダプタ以外は絶対にご使用にならないでください。



## MTU2400 ユニットの接続

MTU2400ユニットの接続は、下図を参照し、接続してください。TVアンテナ接続ケーブルについては、別途ご用意ください。

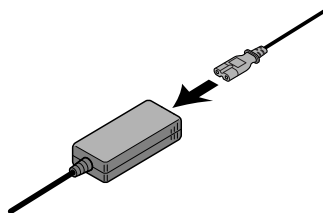


USBケーブルでパソコンとMTU2400ユニットを接続する前に、TVアンテナおよびACアダプタの接続を行ってください。

ACアダプタを接続しただけではPOWER LEDは点灯しません。FEATHER2004アプリケーションを起動中か、あるいは予約録画中以外はACアダプタからの電源供給はMTU2400ユニット内で遮断されます。



ACアダプタはユニット部とケーブル(コンセント側)が別体式となっていますので、接続してご使用ください。

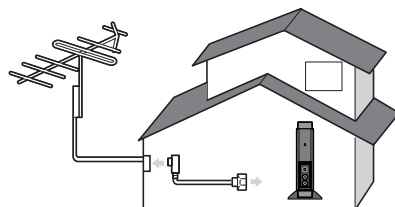


## TV用アンテナ線の接続

テレビ受信用アンテナの接続を行います。  
現在使用しているアンテナ線の種類によって、接続方法が変わります。以下の接続方法の中から、現在使用している環境に合った手順を見つけ、その手順に合わせて接続を行ってください。

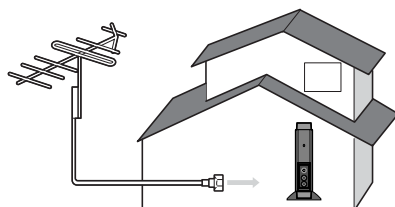
### ■ 壁面にアンテナ端子が付いている場合

壁面にアンテナ端子だけがある場合は、コネクタプラグ付きアンテナケーブルを使用します。MTU2400ユニット側のTVアンテナ接続端子にコネクタプラグの付いた方を接続します。



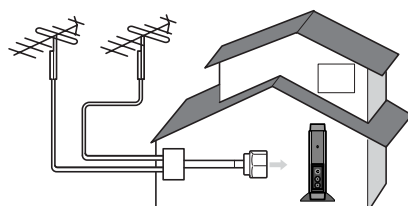
### ■ アンテナ線が1本の場合

アンテナ線が1本(UHF、VHFのみ、またはUHF/VHF混合)だけの場合は、アンテナ線の先端にコネクタプラグを取り付け、MTU2400ユニット側のTVアンテナ接続端子に接続します。



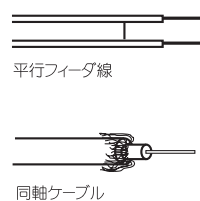
### ■ アンテナ線が2本の場合

アンテナ線が2本(UHFとVHF)の場合は、コネクタプラグの他に、U/V混合器が必要です。U/V混合器を取り付けてアンテナ線を1本にし、アンテナ線の先端にコネクタプラグを取り付け、MTU2400ユニット側のTVアンテナ接続端子に接続します。



### ■ アンテナ線に平行フィーダ線を使用している場合

アンテナ線に平行フィーダ線(右図参照)を使用している場合は、コネクタプラグの他に、整合器が必要です。整合器を使用してアンテナ線を同軸ケーブルに変更してください。整合器の詳細については、ご購入時に販売店などでご確認ください。





分配器を使用して、アンテナ線を複数の機器に接続することも可能です。分配した配線の1本に、コネクタプラグを取り付け、MTU2400ユニットのTVアンテナ接続端子に接続します。ただし、分配によって信号が弱くなる場合などは、アンテナブースターが必要になることもあります。詳しくは、分配器、アンテナブースター購入時に販売店などにご確認ください。

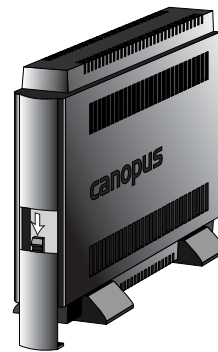
## カバーを取り外す

MTU2400ユニットの前面のカバーを取り外します。入力端子はこの中にあります。

1

MTU2400ユニットのカバーを下方向にずらしてください。

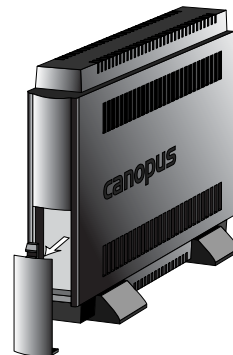
※ カバーの上部を押し下した状態で下方向にずらすと、カバーが外しやすくなります。



2

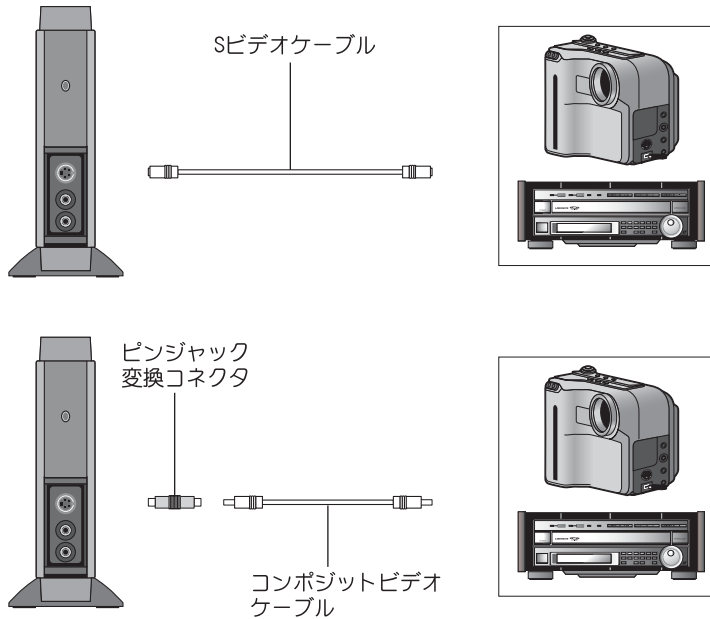
下方向にずらしたカバーを手前に取り外してください

※ カバーのツメ部分がMTU2400ユニット本体から外れていることを確認してください。



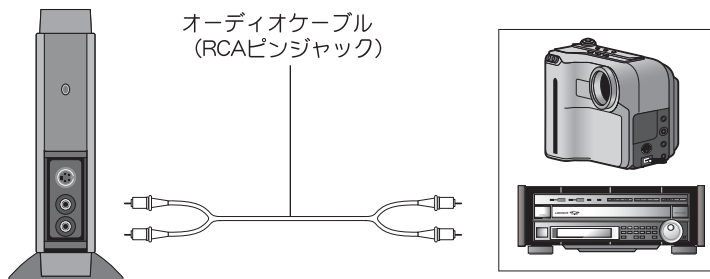
## MTU2400 ユニットとビデオ入力端子の接続

外部ビデオ機器の出力を録画したい場合には、SビデオケーブルでMTU2400ユニットのSビデオ入力端子へ、もしくは付属のピンジャック変換コネクタでコンポジットビデオ入力端子へ接続します(ビデオケーブルは別途お買い求めください)。



## MTU2400 ユニットとオーディオ入力端子の接続

MTU2400ユニットのオーディオ入力端子(R,Lの2箇所)とビデオなどのライン出力端子を接続します。接続時は、MTU2400ユニットのオーディオ入力端子のR側に、接続する機器のライン出力端子のR側が、オーディオ入力端子のL側に、接続する機器のライン出力端子のL側が来るように接続してください(オーディオケーブルは別途お買い求めください)。





# 第4章

## MTU2400F を使う前に

---

この章では、MTU2400Fの特徴と操作ツールについて説明します。

## 4-1 MTU2400Fでできること

MTU2400Fでは主に次のような機能を持っています。

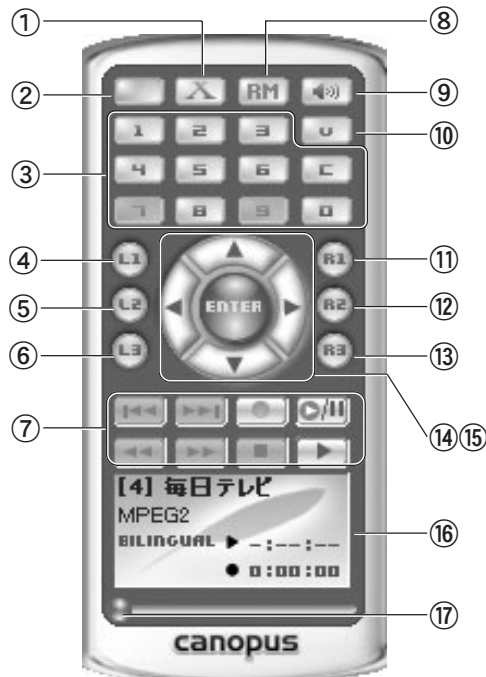
MTU2400Fでできること	参照ページ
テレビを見る	49
ビデオを見る	63
テレビやビデオ映像を録画する	64
録画した映像を見る	78
大事な場面を見逃さずに見る(タイムシフト)	55
録画しながら録画した内容を再生する(追っかけ再生)	60
テレビ放送やビデオ映像の気に入った映像を静止画として保存する	88
テレビ放送を録画予約する	66
DVDを再生する	90



ご使用のパソコンの環境などによっては機能しない場合があります。

## 4-2 コントロールソフト「FEATHER2004」について

「FEATHER2004」は各機能の操作や設定を行うコントロールソフトです。  
ここでは、FEATHER2004操作パネルの各部分の名称と機能について説明します。



### ①[X]ボタン

本製品では使用しません。

クリックを行っても同様のメニューが表示されます。

### ②POWERボタン

FEATHER2004を終了します。

### ⑤[L2]ボタン

静止画キャプチャを行います。

### ③1-0/[C]ボタン

チャンネルのダイレクト入力、もしくはプリセット入力で指定します。  
ケーブルテレビのチャンネルは、頭に「C」をつけて入力します。

### ⑥[L3]ボタン

再生時は各種メニューを表示します。  
また、ダイレクトプレビューのオン/オフを切り換えます(99ページ参照)。

### ④[L1]ボタン

FEATHER2004の設定を行うメニューを表示します。表示画面上でマウスの右

### ⑦録画再生コントロールボタン

録画や再生に関するコントロールを行います(43ページ参照)。



### ⑧リモートモード切り替えボタン

リモートモードに切り替えます(120ページ参照)。

※VideoGate 1000とCRMシリーズリモコンがない場合は、使用できません。

### ⑨[ミュート]ボタン

音声のモニタレベルをゼロにします。

### ⑩[入力切り替え]ボタン

チューナー、ビデオ、Sビデオの切り替えを行います。

### ⑪[R1]ボタン

MEDIA LIBRARYを表示します(79ページ参照)。

### ⑫[R2]ボタン

DVD再生を行います(90ページ参照)。

### ⑬[R3]ボタン

フルスクリーン表示に切り替えます。画面をダブルクリックすることでも同様の操作が行えます。

### ⑭左右ボタン

チャンネルをコントロールします。ホイールスクロール機能を持ったマウスを使用しているときは、画像の表示されているウィンドウを選択(左シングルクリック)して画面右半分の位置でホイールを回転させると同様の操作を行なうことができます。

### ⑮上下ボタン

音量をコントロールします。ホイールスクロール機能を持ったマウスを使用しているときは、画像の表示されているウィンドウを選択(左シングルクリック)して画面左半分の位置でホイールを回転させると同様の操作を行なうことができます。

### ⑯ステータスバー

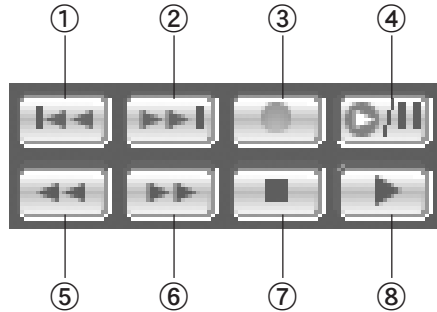
再生時間、タイトルなどの情報が表示されます。モードによって表示内容が異なります。

### ⑰スライダ

ビデオ再生時にスライダを移動すると、任意の位置から再生することができます。

## ■録画再生コントロールボタンについて

録画再生コントロールボタンは、録画や再生に関するコントロールを行います。通常のビデオデッキとほぼ同じように動作します。



### ①スキップ(逆)再生ボタン

30秒間戻ります。(スキップ時間を変更できます。120ページ参照)

### ②スキップ再生ボタン

30秒間進みます。(スキップ時間を変更できます。120ページ参照)

### ③[録画開始]ボタン

録画します。

### ④[一時停止]ボタン

一時停止します。

### ⑤[巻戻し]ボタン

巻戻し再生をします。

### ⑥[早送り]ボタン

早送り再生をします。

### ⑦[停止]ボタン

録画・再生を停止します。

### ⑧[再生]ボタン

再生を開始します。

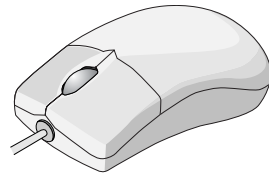


DVD再生モードの時は、ボタンの機能が変わります。

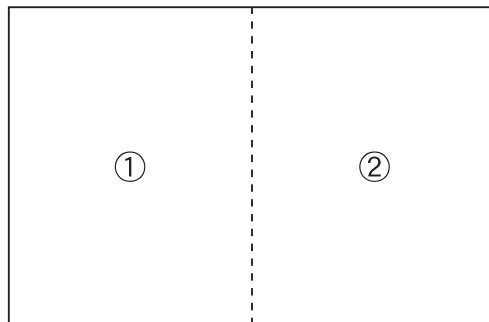
「DVDを再生する」(90ページ参照)



## 画面上での音量、チャンネル等の操作



スクリーン上の特定の位置にマウスカーソルを移動することで操作パネルを使わずに、音量、チャンネル、フルスクリーン表示切換等の操作を行うことができます(ご使用のマウスがホイールスクロール機能を備えている必要があります)。



### ①音量調節

カーソルが **Vol.** マークになり、ホイールを回転させることで音量を調整することができます。

### ②チャンネル変更

カーソルが **CH** マークになり、ホイールを回転させることでチャンネルを変更することができます。



## CRMシリーズリモコンでの操作

オプションのリモコンユニットCRMシリーズでも「音声フォーカス」、「チャンネルフォーカス」、「チャンネル交換」、「チャンネルコピー」を行うことができます。

- 音声フォーカス→P2ボタンを押す
- チャンネルフォーカス→P3ボタンを押す

# 第5章

## 使ってみよう

---

この章では、テレビを見たり、ビデオを録画するなどの基本的な操作について説明します。

■著作権保護信号付き映像について

本製品は、著作権保護信号付き映像のキャプチャを行うことはできません。

## 5-1 FEATHER2004を起動する

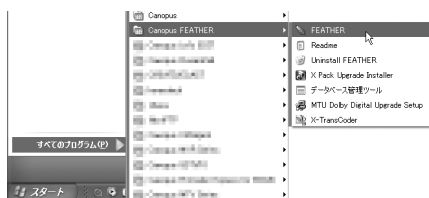
FEATHER2004の起動方法は次の2通りがあります。

1

デスクトップ上のショートカットをダブルクリックします。



または、[スタート]メニューから[すべてのプログラム] (Windows2000環境では[プログラム]) へ進み、[Canopus FEATHER]から[FEATHER]を選択します。



FEATHER2004を終了するには、操作パネルの[POWER]ボタンをクリックするか、[L1]ボタンから[FEATHERの終了]を選択します。



## 5-2 基本操作をする

具体的な操作に入る前に、音量調整やチャンネル変更など基本的な操作について説明します。

### 基本操作

FEATHER2004を使用して以下の基本操作が行えます。

- ①音量調整
- ②チャンネル変更
- ③録画

#### ①音量調整

FEATHER2004または画面上で音量調整を行うことができます。

##### ●FEATHER2004で行う場合

FEATHER2004の上下ボタンで行うことができます。



##### ●画面上で行う場合

ホイールスクロール機能を持ったマウスでは、画面上でカーソルが **Vol.** マークに変化する部分でホイールを回転させることにより音量を調節することができます。

画面上での操作領域については、44ページをご覧ください。

## ②チャンネル変更

FEATHER2004または画面上でチャンネルを変更することができます。

### ●FEATHER2004で行う場合

FEATHER2004の左右ボタンで行うことができます。



### ●画面上で行う場合

ホイールスクロール機能を持ったマウスでは、画面上でカーソルが **CH** マークに変化する部分でホイールを回転させることによりチャンネルを変更することができます。

画面上での操作領域については、44ページをご覧ください。

## ③録画

FEATHER2004によって、チューナーからのテレビ放送や外部ビデオ入力を録画することができます(録画時間の設定等を行う場合は64ページをご覧ください)。

[録画開始] ボタンをクリックします。



録画を停止する場合は[停止]ボタンをクリックします。



### ■画面上での操作領域

スクリーン上の特定部分にカーソルを移動させ各操作を行います。  
「画面上での音量、チャンネル等の操作」44ページ参照

## 5-3 パソコンでテレビを見る

ここでは基本的な機能を説明します。

ここで説明する機能をマスターすると次章で使用する機能をスムーズに使うことができます。

### チャンネルを設定する

FEATHER2004の初回起動時に地域別のプリセットを利用するか、オートスキャン機能を利用して放送があるチャンネルや放送局名などを設定します。

# 1

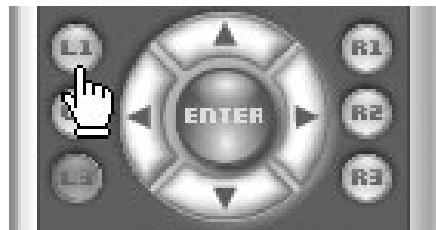
[スタート]メニューから[すべてのプログラム (Windows2000環境ではプログラム)]へ進み[Canopus FEATHER]から[FEATHER]を選択します。

→ FEATHER2004が起動します。

# 2

FEATHER2004の[L1]ボタンをクリックします。

→ メニューが表示されます。



# 3

メニューから「設定」へ進み、[詳細設定を開く]を選択します。

→ [FEATHER設定]画面が表示されます。





4

[TVチャンネル登録]をクリックします。



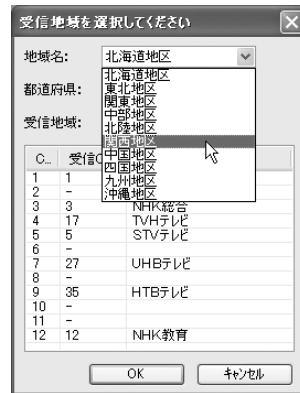
5

[地域設定による登録]をクリックします。



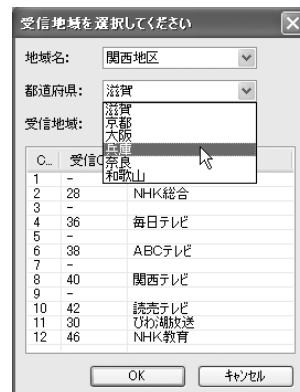
6

[地域名]から本製品を使用している地域名を選択します。



7

[都道府県]から都道府県名を選択します。

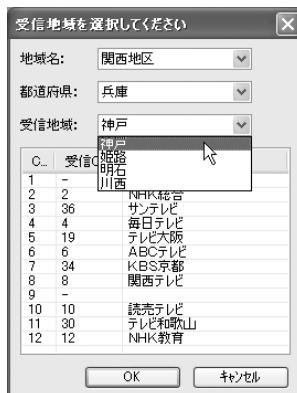


8

[受信地域]から受信地域を選択します。

→ [OK]をクリックし、受信地域の選択画面を閉じます。

もし、お住まいの地域名が見つからない場合、受信地域番組リストの内容が、実際に放送されているものと一部異なる場合は、できるだけ近い内容の地域を選択してください。リストの内容は、後から修正できます。



9

放送局名を確認、および設定してください。

※ 受信チャンネル番号は、放送局からの電波の周波数に直接対応したチャンネル番号のことで、新聞や雑誌のTV番組表に載っている番号です。1~12(VHF)と、13~62(UHF)があります。



受信したいチャンネル番号の欄に、放送局名が正しく記入されていることと、左端に登録マーク(☑)が付いていることを確認してください。もし、その欄に放送局名や登録マーク(☑)がない場合は、その欄をクリックしてみてください。放送が受信できていれば、オーバーレイウィンドウにそのチャンネルの映像が表示されます。正常に受信できていることが確認できた場合は、登録と書かれたチェックボックスをクリックして登録マーク(☑)を表示させ、放送局名欄をクリックして放送局名を入力してください。

10

プリセットを確認および設定してください。

→ チャンネルプロパティ一覧のボタンに、それぞれ任意の受信チャンネルを割り当てることで選局が簡単に行えます。



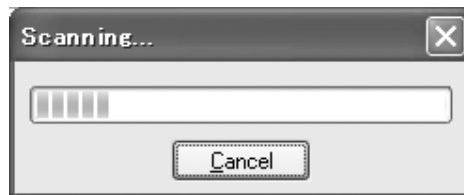
[数字ボタンの動作]の[ボタンに登録されたチャンネル]を選択します。[OK]を押すと設定を完了し、画面が閉じます。



[ボタン登録されたチャンネル]とは、FEATHER2004の1~0のボタンに任意に割り当てられたチャンネルを選択することをいいます。[チャンネル数字入力]とは、放送局が使用しているチャンネルを選択することをいいます。ケーブルテレビは、ケーブルテレビ局がチャンネルを割り当てています。



[自動受信による登録]をクリックすると、すべてのチャンネルを順にスキャンし、放送電波があるチャンネルを自動的に見つけることもできます。受信できたチャンネルの欄には、登録マーク(✓)が付きます。



## CiRAgentのチャンネル設定(地域設定)

CiRAgentのチャンネル設定(地域設定)はFEATHERのチャンネル設定後に行います。

1

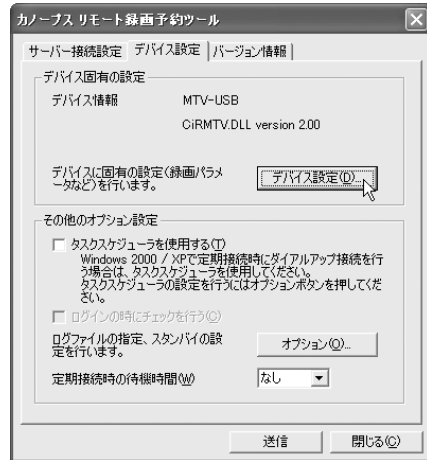
[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[Canopus CiRAgent]へ進み、[Canopus CiRAgent設定]を選択します。

→[カノーパス リモート録画予約ツール]画面が表示されます。

2

[デバイス設定]タブを選択し、[デバイス設定]をクリックします。

→ [MTV設定]画面が表示されます。



3

[FEATHERから取得]をクリックしたあと、[OK]をクリックします。

→ FEATHERで設定したチャンネルがCiRAgentに設定され、[MTV設定]画面を閉じます。



4

[カノーパス リモート録画予約ツール]画面の[送信]をクリックします。

## テレビ番組を表示する

FEATHER2004を起動するとテレビを見ることができます。

1

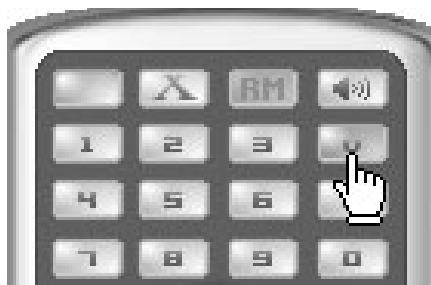
FEATHER2004を起動します。



チャンネル設定については、「チャンネルを設定する」49ページを参照してください。

2

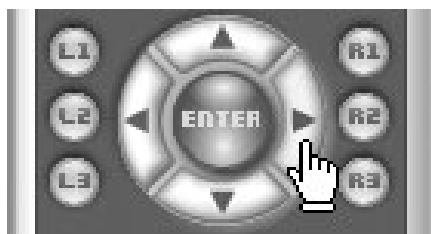
FEATHER2004の[入力切り替え]ボタンを何回かクリックし、チューナーに切り替えます。



3

左右ボタンを使用して好みのチャンネルに合わせてください。オーバーレイウィンドウに選択した受信チャンネルの映像が表示されます。

→ マウスのホイールを回転させたり、FEATHER2004やキーボードのテンキー(0~9の数字キー)で直接チャンネル番号を入力することでチャンネルを変更することもできます。



## 大事な場面を見逃さずに見る(タイムシフト)

テレビを視聴していて、ちょっと席を離れる場合などは、戻ってきたときに続きの部分から見る事ができる、タイムシフト機能を使用すると便利です。ここでは、このタイムシフト機能について説明します。



### タイムシフトのしくみ

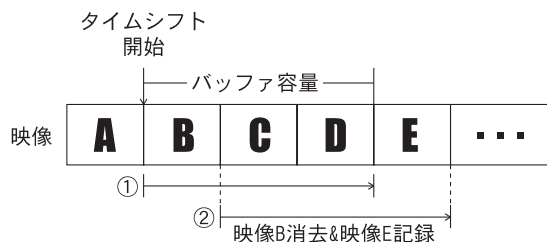
この機能には、タイムシフト中のみ映像の再生を行うことができる標準モードとタイムシフト終了後もMPEGファイルとして、映像を保存できる録画モードがあります。

#### 標準モード

一定時間分のバッファで映像を記録していき、バッファ容量が限度にきたところで古い映像から消去を行い、新しい映像の記録を続けます。

バッファ容量内で記録されている映像は、その範囲内で自由に再生・巻戻し・早送り等することができます。バッファ時間は設定します。

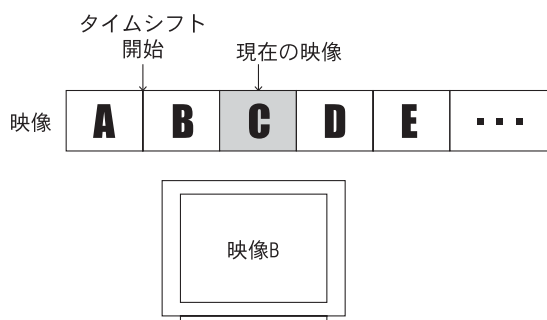
※標準モードでは、タイムシフトを終了すると記録したすべての映像が消去されます。



①で映像Bから映像Dまでのバッファ容量でタイムシフトを開始した場合、バッファ容量が映像Dの終りに達したところで映像Bが消去され、②その分のバッファで映像Eの記録を行います。

## 録画モード

タイムシフトされた映像がMPEGファイルとしてハードディスクに保存されます。タイムシフト終了後も映像を保存しておきたい場合に使用します。



通常の録画モードではスクリーン上に現在の映像が表示されますが、タイムシフトの録画モードでは、スクリーン上に表示される映像はハードディスクに既に記録された映像の再生となります。また、録画開始時に記録するファイル名を指定するのではなく、あらかじめ設定されたバッファ用のファイルに記録されます。



ここで説明している手順で、タイムシフト機能がうまく使用できない場合、録画データの設定を変更する必要があります。

1

FEATHER2004を起動し、[L1]ボタンから[設定]へ進み、[詳細設定を開く]を選択します。



2

[FEATHER設定]画面の左メニューから[タイムシフト]を選択します。



3

タイムシフトモードを[標準モード]または[録画モード]から選択します。標準モードを選択した場合は、バッファ時間も設定します。  
※ デフォルトではディスクの空き容量から自動計算されます。



標準モードと録画モードについては、「タイムシフトのしくみ」55ページを参照してください。



4

タイムシフト機能を使用したいテレビ映像をオーバーレイウィンドウに表示します。



テレビ映像を表示する場合は、「テレビ番組を表示する」54ページを参照してください。



ビデオ映像を表示する場合は、「ビデオの映像を見る」63ページを参照してください。

5

[一時停止]ボタンをクリックします。  
→ 表示中の映像が停止し、タイムシフトを開始します。





6

再開するときは、再度[一時停止]ボタンをクリックします。

→ タイムシフト機能を使用した映像の表示を再開します。タイムシフト中は、何度でも一時停止、再生を繰り返すことができます。



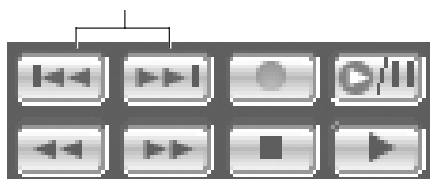
標準モードの場合には、一時停止していた時間がバッファ時間を超えていなければ、一時停止させた時点の続きから再生されます。バッファ時間を超えていた場合は、現在よりバッファ時間分だけ過去の場面から始まります。

録画モードの場合には、一時停止させた時点の続きから再生されます。ドライブの空き容量がなくなるまで録画を続けることができます。



タイムシフト中に、記録された映像内で一定時間前または先へスキップして再生することができます(スキップ再生)。

スキップ再生ボタン



スキップ時間の設定を行うには、「その他」120ページを参照してください。

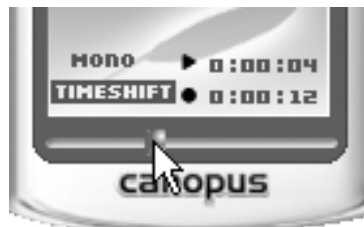
7

[停止]ボタンをクリックします。

→ タイムシフトを終了し、通常の状態に戻ります。



スライダを操作して、見たい場面に巻戻し/早送りすることができます。右に行くほど、現在位置に近づきます。



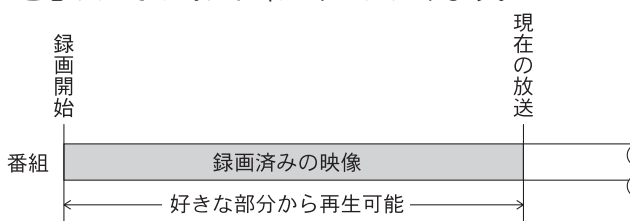
## 録画中にすでに録画した映像を見る(追っかけ再生)

テレビ放送または外部ビデオ機器を録画している時に、[再生]ボタンをクリックすると、録画を続けながら、既に録画された部分を最初から見るすることができます。ここでは、この追っかけ再生機能について説明します。



### 追っかけ再生ってなに？

これまでの録画では、録画中にその内容を見ることはできませんでした。追っかけ再生では、ムダな待ち時間を省き、録画中に見たいと思う場面を見たいと思ったその時にお楽しみいただけます。



1

テレビまたはビデオを録画している状態にします。



手順の詳細については、「テレビやビデオの映像を録画する」64ページを参照してください。

2

はじめから再生するには、[再生]ボタンをクリックします。



または、再生したいところで[一時停止]ボタンをクリックします。

→ 画面が静止します。



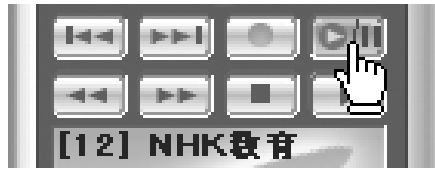
3

手順2で[一時停止]ボタンを押した場合、再度[一時停止]ボタンをクリックします。

→ 停止したところから再生を開始します。

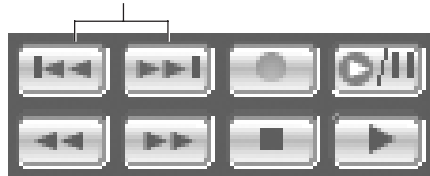
※ 追っかけ機能使用中は、何度でも一時停止、再生を繰り返すことができます。

※ タイムシフトと同様、スライダで追っかけ再生の時間を変更することができます。



追っかけ再生中に、記録された映像内で一定時間前または先へスキップして再生することができます(スキップ再生)。

スキップ再生ボタン



スキップ時間の設定を行うには、「その他」120ページを参照してください。



追っかけ再生は、タイムシフトと同様に、通常の録画や再生よりもさらに高いCPUやディスクの速度を必要とします。

4

[停止]ボタンをクリックします。

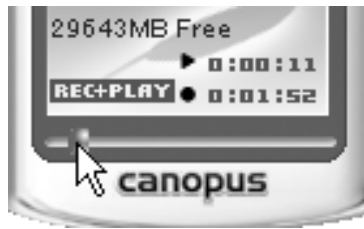
→ 追っかけ再生を終了し、通常の状態に戻ります。

※ [停止]ボタンを二度クリックすると録画を停止します。





スライダを操作して、見たい場面に巻戻し/早送りすることができます。右に行くほど、現在位置に近づきます。



## ビデオの映像を見る

ビデオ入力端子に接続したビデオ機器の映像を見ることができます。

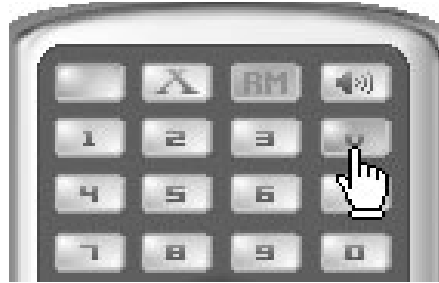
1

FEATHER2004を起動します。

2

FEATHER2004の[入力切り替え]ボタンを何回かクリックし、ビデオまたはSビデオに切り替えます。

→ オーバーレイウィンドウにビデオの映像が表示されます。



ビデオ映像をより見やすくする機能として、ビデオ信号を調整したり、オーバーレイウィンドウに表示される画像を調整したりする機能があります。



ビデオ信号の調整に使用するウィンドウについては、「[ビデオ入力設定]」104ページ、「[Sビデオ入力設定]」105ページを参照してください。



オーバーレイウィンドウの調整に使用するウィンドウについては、「[ダイレクトプレビュー]」107ページを参照してください。

## 5-4 録画する

### テレビやビデオの映像を録画する

テレビ放送やビデオ入力端子に接続したビデオ機器の映像を録画することができます。



ノイズなど映像の状態によっては録画できないものがあります。

1

録画したいテレビまたはビデオ映像をオーバーレイウィンドウに表示します。



テレビ映像を表示する場合は、「テレビ番組を表示する」54ページを参照してください。



ビデオ映像を表示する場合は、「ビデオの映像を見る」63ページを参照してください。

2

[L1]ボタンをクリックし、[設定]から[詳細設定を開く]を選択します。

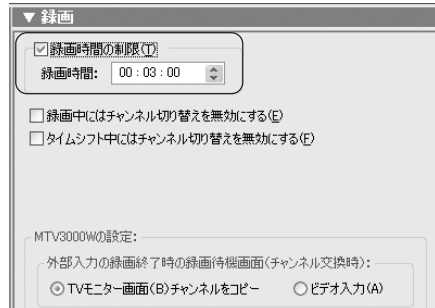
→ [FEATHER設定]画面が表示されます。



3

左メニューから[録画]を選択します。[録画時間の制限]をチェックし、録画時間を設定します。設定後、[OK]をクリックします。

※ 録画時間に制限を設定しない場合は、チェックを付けないでください(チェックを外すと[録画時間]はグレイアウトし、設定できなくなります)。



4

MPEGパラメータを設定し、[OK]をクリックします。



MPEGのパラメータ設定には、専門的な知識を必要とする設定も複数あります。最初は、初期設定のままで録画をし、問題が出た場合に、その部分を変更していくようにしてください。設定内容は記憶されますので、同じパラメータで録画する場合には、次回から設定する必要はありません。



MPEGパラメータの設定については、「[HW-MPEG設定(MTU)]」113、114ページを参照してください。

5

[録画開始]ボタンをクリックします。

→ 録画を開始します。設定した時間が経過すると、録画を自動的に終了します。録画を中止したい場合は[停止]ボタンをクリックしてください。



ドライブの空き容量がなくなるまで録画を続けることができます。



## 5-5 録画予約する

### テレビ番組を録画予約する

ここではFEATHER2004のテレビ番組録画予約機能について説明します。

#### ■ FEATHER2004のスケジュール機能を利用して録画予約する

FEATHER2004のスケジュール機能を利用したテレビ番組録画予約について説明します。スケジュール機能を利用した録画予約を行う場合は、録画予約が開始される時間に、お使いのパソコンのタスクスケジューラが復帰できる状態である必要があります。また、タスクスケジューラの復帰には予約設定時にWindowsにログインしたアカウント(パスワード)が必要です。録画予約を実行するには、管理者権限のアカウントが必要です。



録画予約を行う場合は、前もってパソコンの内蔵時計を正しい日付、時刻に設定しておいてください。

日付、時刻の設定は、[スタート]メニュー→[コントロールパネル]→[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]をクリックすると表示される、[日付と時刻のプロパティ]画面で行ってください。調整後は、一度タスクスケジューラを停止し、再開することをお勧めします。

また、予約時は、パソコンのタスクスケジューラの機能を利用しています。

1

[L1]ボタンから[録画予約]へ進み、  
[新規予約]を選択します。  
→ [予約日時]画面が表示されます。



2

スケジュール、開始日、開始時刻、終了時刻を設定し、[次へ]をクリックします。

→ [録画設定]画面が表示されます。

※ 終了時刻と録画時間は連動していますので、どちらかを変更するともう一方も自動的に変更されます。



3

番組名、ビデオソース、チャンネル、音声多重、録画開始前の待機時間、録画マージンについて設定し、[次へ]をクリックします。

→ [録画形式]画面が表示されます。



4

動作、録画形式、ファイル名について設定し、[次へ]をクリックします。



● MPEGマニュアル設定

[録画形式]の[詳細設定]をクリックすると[MPEGマニュアル設定]画面が表示されま  
す。表示される画面は、選択した録画形式やご使用の製品によって異なります。



項目の詳細については「7-1 各設定項目をもっと詳しく」124ページを参照してください。

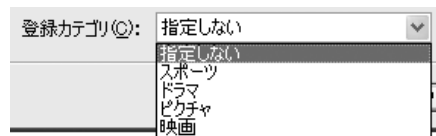
## ●ファイル名の詳細設定

[ファイル名]の[詳細設定]をクリックすると[ファイル名の詳細設定]画面が表示されます。

- ・連番  
同名ファイルが存在する場合、ファイル名に連番をつけます。
- ・日時  
必ず日時をファイル名につけます。



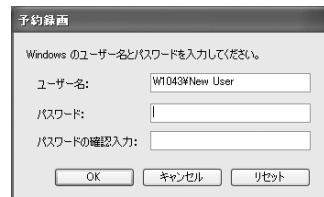
※「登録カテゴリ」ではMEDIA LIBRARYに登録するカテゴリを選択できます。



右の画面が表示されたときは、Windowsにログオンした時と同じアカウント(パスワード)を必ず設定してください。

※この設定を間違った場合やパスワードが未入力の場合は、正しく録画できないことがあります。

※[リセット]ボタンをクリックすると入力した内容がリセットされます。



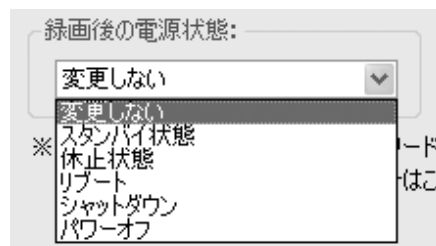
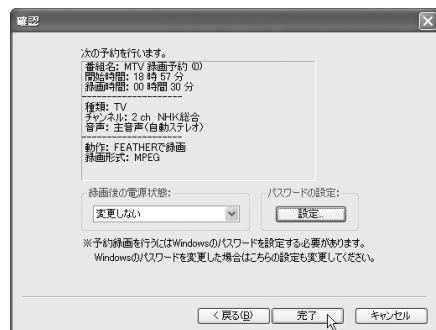
## 5

[完了]をクリックします。

→ 設定内容に従って、録画予約が行われます ([予約一覧]画面に登録されます)。

※ Windowsのパスワードを変更した場合は、[パスワード設定]で設定の変更を行ってください。設定の変更が行われていない場合は、録画に失敗します。

※ 録画後の電源状態を設定する場合はプルダウンメニューから選択してください。



## ■ 番組表をマウスで操作する

iEPG番組表を利用したテレビ番組録画予約について説明します。この機能を利用するためには、インターネットに接続できる環境と、FEATHER2004設定の番組情報をあらかじめ設定しておく必要があります。録画予約を行う場合は、録画予約が開始される時間に、お使いのパソコンのタスクスケジューラが復帰できる状態である必要があります。また、タスクスケジューラの復帰には予約設定時にWindowsにログインしたアカウント(パスワード)が必要です。ここでは、番組情報「テレビ王国」を例に手順を説明します。



はじめて録画予約の設定を行う時は、75ページ記載の「iEPGで予約を追加できるように拡張子を関連付ける」にチェックを入れます。

1

[L1]ボタンから[録画予約]へ進み[番組表(マウス操作)]を選択します。

→ インターネットへ接続し、テレビ王国のホームページが表示されます。地域などお使いの環境に合わせて番組表を選択してください。



右の画面が表示されたときは、Windowsにログオンした時と同じアカウント(パスワード)を必ず設定してください。

※ この設定を間違った場合やパスワードが未入力の場合は、正しく録画できないことがあります。

※ [リセット]ボタンをクリックすると入力した内容がリセットされます。



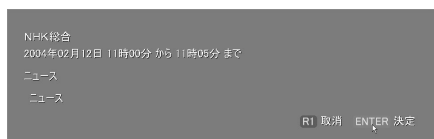
2

予約を行いたい番組名の下にある  
[予約]をクリックします。



3

番組の情報が表示されるので  
[ENTER]をクリックします。



4

録画予約を終了するときは、[R3]  
をクリックします。



## ■ 番組表をリモコンで操作する

当社製CRMシリーズリモコンをお持ちの方は、iEPG番組表をリモコンで操作しテレビ番組の録画予約をすることができます。録画形式などの設定は、デフォルト(初期設定)で録画されます。



- ・ はじめて録画予約の設定を行うときは、75ページ記載の「iEPGで予約を追加できるように拡張子を関連付ける」にチェックを入れます。
- ・ キーボードのカーソルキーとEnterキーでも操作できます(マウスでは操作できません)。



CRMシリーズリモコンの使い方は、CRMシリーズリモコンに付属の取扱説明書を参照してください。

1

リモコンの[L1]ボタンを押し、[録画予約]から[番組表(リモコン操作)]を選びます。

→ インターネットへ接続し、テレビ王国のホームページが表示されます。地域などお使いの環境に合わせて番組表を選択してください。



右の画面が表示されたときは、Windowsにログオンした時と同じアカウント(パスワード)を必ず設定してください。

※ この設定を間違った場合やパスワードが未入力の場合は、正しく録画できないことがあります。

※ [リセット]ボタンをクリックすると入力した内容がリセットされます。



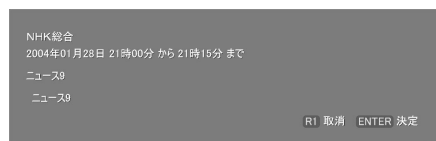
3

録画したい番組を選択し、[ENTER] ボタンを押します。



4

番組の情報が表示されるのでリモコンの[ENTER]ボタンを押します。



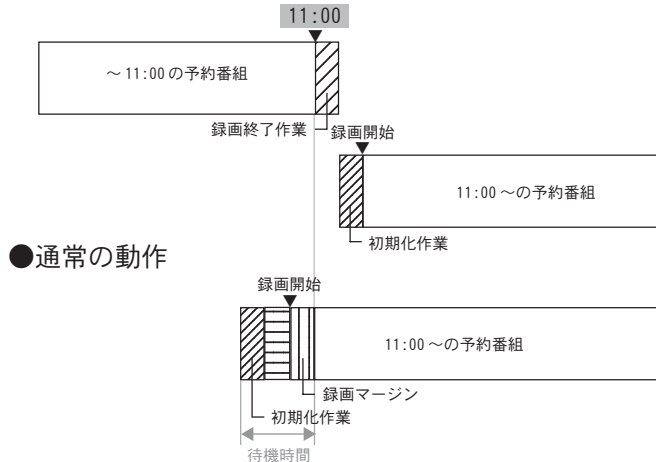
5

録画予約を終了するときには、リモコンの[R3]ボタンを押します。



たとえば、同じ日の10:00~11:00、11:00~12:00といった2つの番組を予約した場合、警告メッセージが表示されます。これは、[待機時間]で設定された時間を予約と予約の間にとれないためです。また、この場合11:00~の予約分の頭が少し切れた状態になります。これは11:00までの予約分が11:00に録画終了処理を行い、その後11:00~の予約分が初期化後に録画を開始するためです。これを防止するためには、iEPG予約後に予約開始・終了時間などの調整を行っていただく必要があります。

●録画の終了と開始時間が同じ場合の動作



●通常の動作

## ■ 予約内容を確認・変更する

[L1]ボタンから[録画予約]→[予約一覧表示]を選択すると、[予約一覧]画面が表示されます。ここではテレビ番組の録画、視聴予約の設定内容を確認、変更することができます。

### [予約一覧]画面



#### ①[追加]ボタン

新しい、録画・視聴予約データを追加します。クリックすると、設定用画面が順に(設定内容によって表示される画面の種類、数は異なります)表示されますので、設定を行います。すべての設定が終了したら、[完了]をクリックします(66ページ参照)。

#### ②[削除]ボタン

不要となった録画・視聴予約データを削除します。削除したい録画・視聴予約データを左クリックで選択し、[削除]をクリックすると、データが削除されます。

#### ③[編集]ボタン

作成した予約データの詳細内容を確認・変更することができます。確認・変更したい録画・視聴予約データを左クリックで選択し、[編集]をクリックすると、データ内容が表示されます。データ内容は、複数のタブに分けて表示されます。

#### ④[設定]ボタン

次ページ参照。

#### ⑤[インターネット番組表]ボタン

[設定]ボタンの番組情報タブで入力したホームページを表示します。



#### ④[設定]ボタン

##### [予約録画]タブ

録画時の起動および終了時のオプション設定を行うことができます。



#### • 初期化マージン

タスク起動時から初期化までのマージンを設定します。ご使用の環境で初期化に失敗する場合、設定をすることをお勧めします。

#### • リトライ回数

録画が失敗した場合のリトライ回数を0～10回まで選択できます。リトライした場合は、ファイルが分割されます。

#### • オーバーレイ表示マージン

オーバーレイ表示開始までのマージンを設定します。お使いの環境で、オーバーレイの表示に失敗する場合、設定することをお勧めします。

#### • 電源状態変更

録画予約後の電源状態変更までの待機時間を10～60秒まで選択できます。

## [番組情報]タブ

iEPGを使った番組予約機能に関する設定を行うタブです。iEPG機能を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。設定項目は以下のとおりです。



- インターネット 番組情報のURL**  
 iEPG番組予約に使用する番組表があるURLを入力します。プルダウンリストには、デフォルトの設定が登録されていますので、リストから選択することもできます。[ブラウザで表示]をクリックすると、指定したURLを表示します。
- iEPGで予約を追加できるように拡張子を関連付ける**  
 チェックすると、スケジュールに関連付けが行われ、iEPG機能が使用できるようになります。iEPG機能を使用する場合は、必ずチェックを付けてください。
- 予約追加時に放送局が見つからない場合は外部入力に割り付ける**  
 iEPG番組予約で放送局が見つからない場合は、外部のビデオから録画できます。接続しているビデオの種類を選択します。



デフォルトの設定に含まれていない番組表を入力した場合、番組表から提供される定義ファイルの拡張子を入力するウィンドウが表示されます。

## ■ CiRAgentを利用して外出先から録画予約する

遠方へ外出したときなど、iモードやパソコンからインターネットを利用し、テレビ録画の予約をすることができます。ここでは、テレビ番組情報サイト「テレビ王国」の手順を説明します。



CiRAgentの設定については、第2章「CiRAgentの設定」17ページを参照してください。



録画予約を行う場合は、必ずパソコンとテレビチューナーユニットの電源を入れておいてください。スリープモード、またはテレビチューナーユニットの電源が切れている場合は、録画できません。

1

iモードなどの端末から「テレビ王国」へ接続します。

→ 「テレビ王国」のURLは「<http://www.so-net.ne.jp/tv/>」です。iモードをご使用になる場合のURLは「<http://imode.so-net.ne.jp/tv/>」です。

※URLは予告無く変更される場合があります。

2

番組表から録画したい番組を選択します。

→ 予約を確認するメッセージが表示されます。

3

「はい」を選択します。

→ 「テレビ王国」のサーバーに登録されますので、予約はこれで完了です。



予約方法の詳細内容は「テレビ王国」を参照してください。



テレビ王国のパスワードを変更した場合、必ずCanopus CiRAgent設定で再設定してください。設定が異なる場合、予約情報が反映されません。



サーバーの予約設定待ち一覧に、録画時間が過ぎている予約が表示されている場合、それを削除してから新規の予約を行ってください。



#### リモート録画予約のしくみ

iモードやインターネットカフェなどの外出先からインターネットを利用してご自宅のパソコンにテレビ録画することをリモート録画予約と呼んでいます。

まず、インターネット上で録画予約した情報がテレビ王国のサーバーへ登録されます。

パソコンにインストールされているCiRAgentが、接続時間になるとインターネットに接続し、テレビ王国のサーバーに登録されている録画予約情報をダウンロードします。その後、予約完了のメールが届きます。録画予約に失敗した場合は、その通知メールが届きます。

予約した時間になると、ご自宅のパソコンが録画を開始します。



CiRAgentは、設定された接続時間のみサーバーへ接続するため、録画予約やキャンセルが実行されない場合があります。

## 5-6 録画した映像を見る

### 映像ファイルを再生する

録画予約したファイルなどの再生の手順について説明します。

1

[R1]ボタンをクリックします。



→ [MEDIA LIBRARY]画面が表示されます。



2

MEDIA LIBRARYから再生するファイルを選択し、[再生]ボタンをクリックします。

→ 再生が開始されます。

※ 再生したいファイル上でダブルクリックすることでも再生が開始されます。

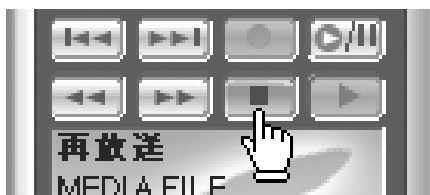
※ ビデオ再生中にスライダを移動すると任意の位置から再生することができます。



3

再生を終了するときは[停止]ボタンをクリックします。

→ ファイルの再生を停止します。



## MEDIA LIBRARYを使いこなす

FEATHER2004で録画した映像は、自動的にMEDIA LIBRARYに登録されます。MEDIA LIBRARY上でファイルをカテゴリ別で分類しておけば、お気に入りのファイルをわざわざ探す手間がはぶけ、すぐに映像を見ることができます。

また、お気に入りのファイルを追加登録できますので、パソコンに取り込んだ映像や静止画像も同時に整理できます。



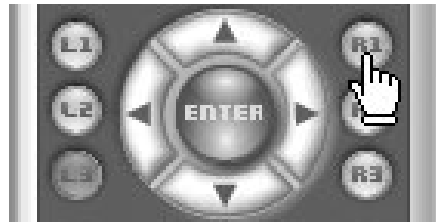
当社製HomeEdgeをご使用の場合、MEDIA LIBRARYとHomeEdgeはデータベースを共有します。そのためFEATHER2004で録画したファイルは、HomeEdge Explorerにも自動的に追加されます。

### ■ファイルを追加登録する

パソコンに取り込んだビデオ映像などのファイルをMEDIA LIBRARYに登録します。

1

FEATHER2004の[R1]ボタンをクリックします。



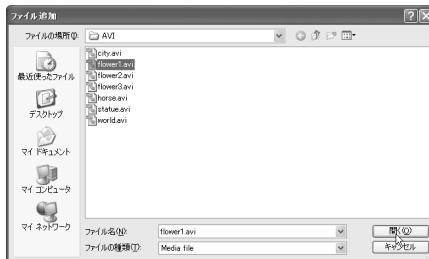
2

[ファイルの追加]ボタンをクリックします。



3

追加登録するファイルを選択し、  
[開く]をクリックします。



→ 選択したファイルがMEDIA LIBRARY  
に登録されます。追加したファイル  
のアイコンには「New」が表示され  
ています。



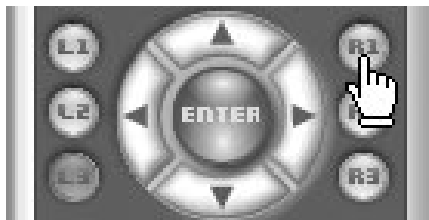
分類するルートカテゴリのフォルダを選択してから追加登録する  
と、そのフォルダ内にファイルを登録することができます。

## ■ ファイルを分類する

ルートカテゴリに新しくフォルダを作成し、そのフォルダにファイルを移動させます。

1

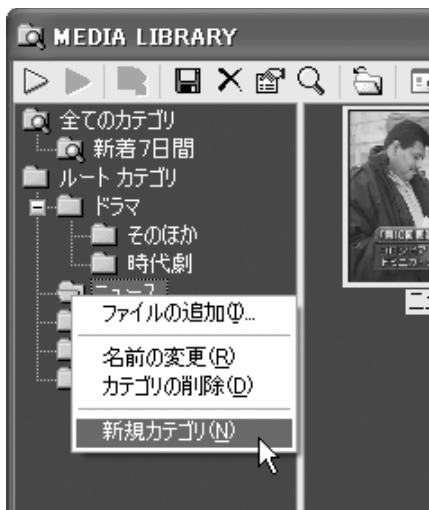
FEATHER2004の[R1]ボタンをク  
リックします。



2

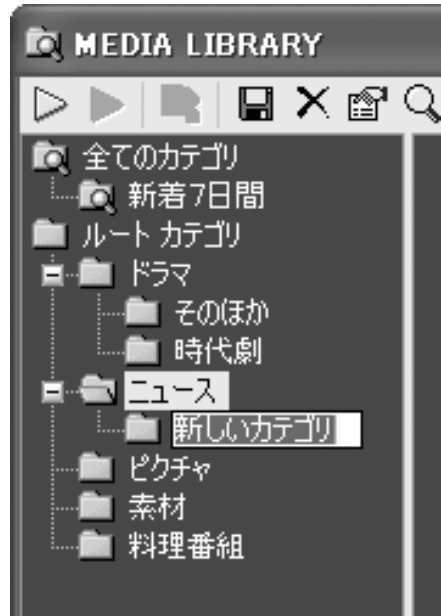
フォルダを作成する階層より1つ  
上のフォルダ上で右クリックし、  
[新規カテゴリ]を選択します。

→ 選択したフォルダ内に新しいフォル  
ダが作成されます。



3

フォルダにお好みの名前を付けます。

5-6  
録画した映像を見る

4

登録するファイルを新しいフォルダ上にドラッグします。

→ ファイルが新しいフォルダ内に移動します。

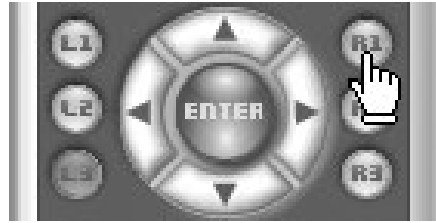




## ■ ファイルを削除する

1

FEATHER2004の[R1]ボタンをクリックします。



2

削除するファイルを選択し、[削除]ボタンをクリックします。



3

オプションを選択し、[削除する]をクリックします。

→ 選択したファイルが削除されます。

[ファイルを残す]:

MEDIA LIBRARYへの登録を解除します。元データは削除されません。

[ファイルを削除する]:

MEDIA LIBRARYへの登録を解除すると同時に、元データも削除します。

[ファイルをゴミ箱へ移動する]:

MEDIA LIBRARYへの登録を解除すると同時に、元データをゴミ箱へ移動させます。



## ■フォルダを削除する

ルートカテゴリ内にあるフォルダを削除します。



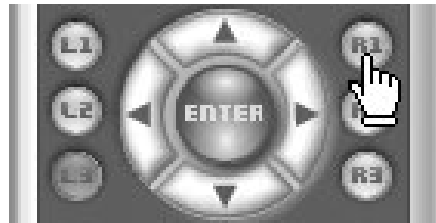
[全てのカテゴリ]フォルダと[新着7日間]フォルダ、[ルートカテゴリ]フォルダは削除できません。



フォルダ内にファイルが登録されているときは、削除できません。

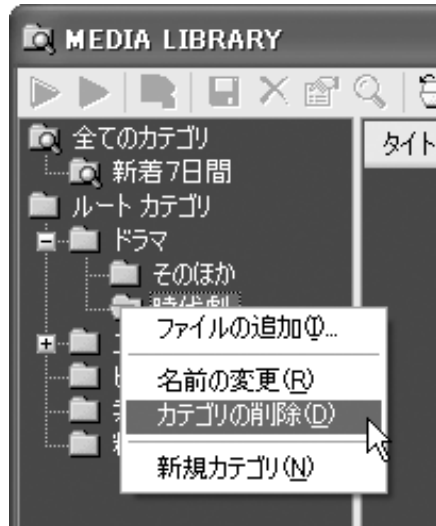
1

FEATHER2004の[R1]ボタンをクリックします。



2

削除するフォルダを選択し、右クリックメニューから[カテゴリの削除]を選択します。



3

[はい]をクリックします。  
→ 選択したフォルダが削除されます。



## ■データベースを管理する

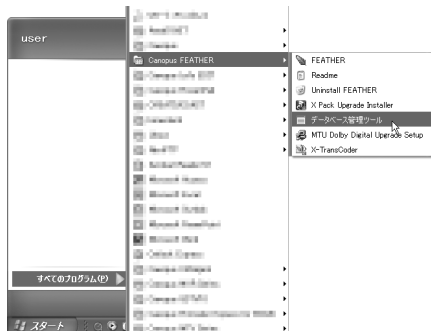
HomeEdgeデータベース管理ツールを使うと、MEDIA LIBRARYで使用するデータベースをバックアップしたり、初期化することができます。



FEATHER2004を起動させているときにデータベース管理ツールを使用しないでください。データベース管理ツールが正常に動作しない場合があります。

1

HomeEdgeデータベース管理ツールを起動するには、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]（Windows 2000環境では[プログラム]）へ進み、[Canopus FEATHER]から[データベース管理ツール]を選択します。



次の画面が起動します。

[バックアップ]ボタン

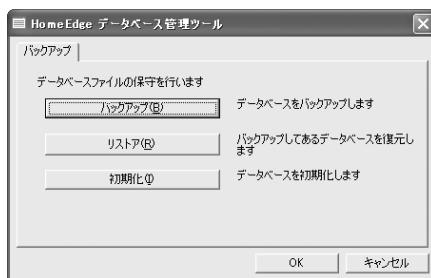
データベースのバックアップが作成できます。バックアップには任意の名前をつけることができます。

[リストア]ボタン

バックアップしているデータベースの内容をMEDIA LIBRARYに表示します。

[初期化]ボタン

データベースを初期化します。データベースの登録内容を初期化するため、元データは削除されません。

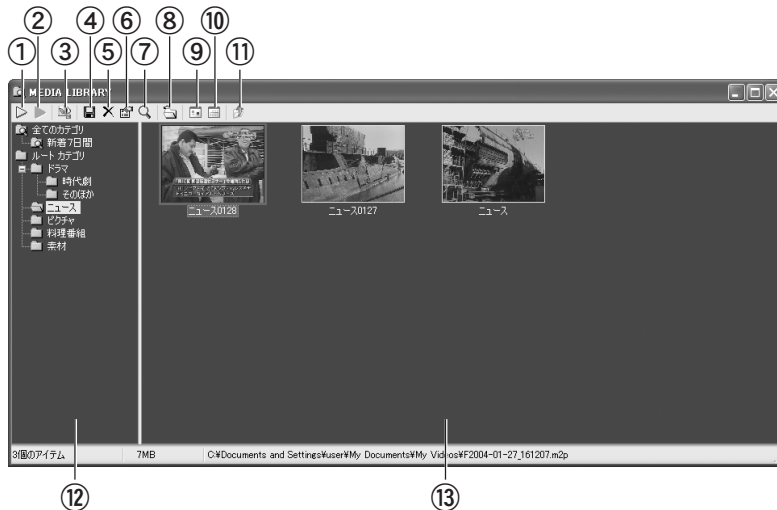


- HomeEdgeをご使用の場合は、MEDIA LIBRARYとデータベースを共有します。そのため、ここで初期化を行うとHomeEdgeのデータベースも同時に初期化されます。
- HomeEdgeをアンインストールすると、データベース削除を確認するメッセージが表示されます。MEDIA LIBRARYで引き続きデータベースを使用する場合は、データベースを削除しないでください。

## MEDIA LIBRARYについて

MEDIA LIBRARYの画面やボタン、メニューなどについて説明します。

### ■ [MEDIA LIBRARY]画面



#### ①[再生]ボタン

選んだファイルを再生します。

#### ②[続きを再生]ボタン

一時停止したファイルをその場所から再生します。

#### ③[X-TransCoder]ボタン

X-TransCoderを起動します。(本製品では使用できません。X-TransCoderを使用するには、別途X Packシリーズのいずれかが必要です)。

#### ④[別名で保存]ボタン

選んだファイルを別名で保存します。

#### ⑤[削除]ボタン

選んだカテゴリ別フォルダとファイルをMEDIA LIBRARYから削除します。

#### ⑥[プロパティ]ボタン

選んだファイルのプロパティを表示します。プロパティでは、ファイル名の変更やコメントを追加できます。

#### ⑦[フォルダを開く]ボタン

ファイルを選択してこのボタンをクリックすると、ファイルを保存しているフォルダを開きます。

#### ⑧[ファイルの追加]ボタン

ファイルをMEDIA LIBRARYに追加登録します。

#### ⑨[大きいアイコン]ボタン

ファイルリストの表示をサムネイル表示に切り替えます。

#### ⑩[詳細]ボタン

ファイルリストの表示を詳細表示に切り替えます。

#### ⑪[上へ]ボタン

選択したフォルダの上の階層にあるフォルダを選択します。

## ⑫フォルダツリー

登録したフォルダをツリー形式で表示します。

[すべてのカテゴリ]:

MEDIA LIBRARYに登録されているファイルをすべて表示します。

[新着7日間]:


録画日時が7日間以内のファイルをすべて表示します。フォルダ名や表示期間を変更するには、右クリックメニューから[プロパティ]を選択してください。

[ルートカテゴリ]:


お好みで複数のフォルダを作成することができます。作成したフォルダに任意で名前を付け、ファイルを分類・整理できます。

## ⑬ファイルリスト

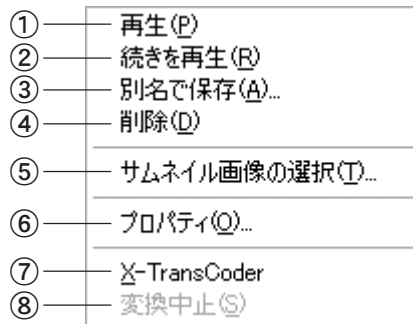
選択したフォルダに登録されているファイルを表示します。サムネイル表示と詳細表示をボタンで切り替えることができます。詳細表示時に表示されるアイコンの意味は次のとおりです。

 : 録画後まだ再生されていないファイルを示します。

 : 再生されたファイルを示します。

 : 登録後、ファイルの保存場所が変更になったりファイルが削除されたことを示します。

## ■ファイル上での右クリックメニュー



### ①[再生]

選んだファイルを再生します。

### ②[続きを再生]

一時停止したファイルをその場所から再生します。

### ③[別名で保存]

選んだファイルを別名で保存します。

### ④[削除]

選んだカテゴリ別フォルダとファイルをMEDIA LIBRARYから削除します。

### ⑤[サムネイル画像の選択]

ファイルリストのサムネイル画像を、お好みの場面に変更することができます。

### ⑥[プロパティ]

選んだファイルのプロパティを表示します。プロパティでは、ファイル名の変更やコメントを追加できます。

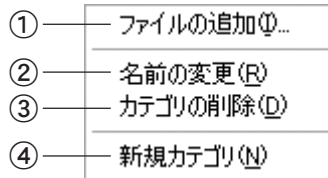
### ⑦[X-TransCoder]

X-TransCoder を起動します(本製品では使用できません。X-TransCoder を使用するには、別途X Packシリーズのいずれかが必要です)。

## ⑧[変換中止]

ファイル変換の処理を中止します(本製品では使用できません。X-TransCoder使用時に可能となります)。

## ■ ルートカテゴリにあるフォルダ上での右クリックメニュー



## ①[ファイルの追加]

選択したルートカテゴリ(またはフォルダ)にファイルを追加します。

## ②[名前の変更]

選択したルートカテゴリ(またはフォルダ)の名前を変更します。

## ③[カテゴリの削除]

ルートカテゴリ内の選択したフォルダを削除します。

## ④[新規カテゴリ]

ルートカテゴリ内に新しいフォルダを作成します。

## 5-7 静止画をキャプチャする

### 静止画をキャプチャする

お気に入りの場面を静止画キャプチャし、ファイルに保存する手順について説明します。



- ・静止画キャプチャ時、オーバーレイサイズによっては、縦サイズが実際の半分になる場合があります。
- ・モードや再生しているファイルの種類によって、静止画をキャプチャできない場合があります。

1

[L1]ボタンから[設定]に進み、[詳細設定を開く]を選択します。

→ [FEATHER設定]画面が表示されます。



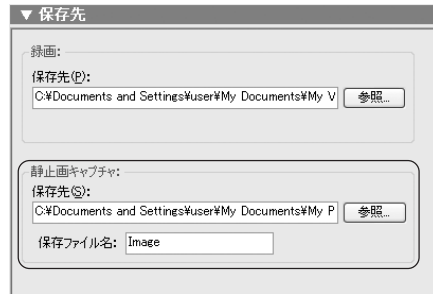
2

左メニューから[保存先]を選択します。



3

静止画の保存先、保存ファイル名を指定し、[OK]をクリックします。



4

静止画キャプチャしたいテレビ、またはビデオ映像をオーバーレイウィンドウに表示します。



テレビ映像を表示する場合は、「テレビ番組を表示する」54ページを参照してください。

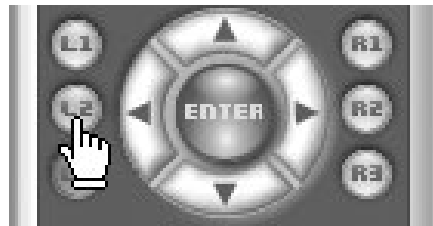


ビデオ映像を表示する場合は、「ビデオの映像を見る」63ページを参照してください。

5

お気に入りの場面になったら[L2]ボタンをクリックします。

→ キャプチャされた静止画が指定した保存先に保存されます。



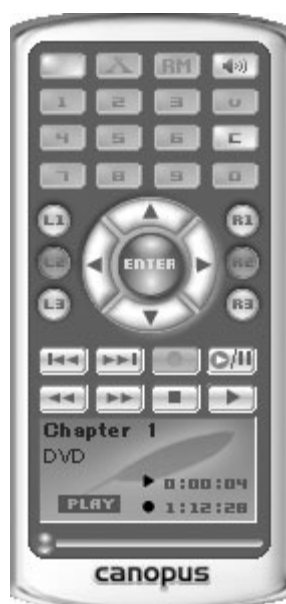


## 5-8 DVDを再生する

### DVDを再生する

DVD再生モードは、市販のDVDディスクを再生するモードです。DVDをお楽しみいただくには、お使いのパソコンにDVDを読み取り可能なドライブが搭載されている必要があります。

DVD再生モードへの切り替えは、[L1]ボタンの[入力切替]から[DVD再生]を選択します。



#### ■ [C]ボタン

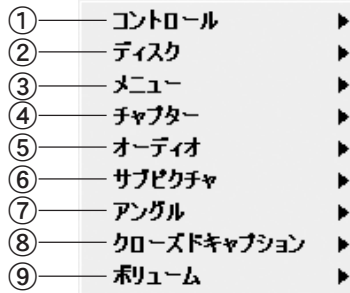
ディスクの挿入/取り出しを行います。

#### ■ [R1]ボタン

MEDIA LIBRARYを表示します。

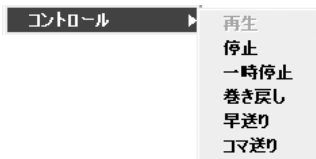
■ [L1]ボタン

DVDの基本的な操作を行うためのメニューが表示されます。また、オーバーレイ上で右クリックすることでも同じメニューが表示されます。



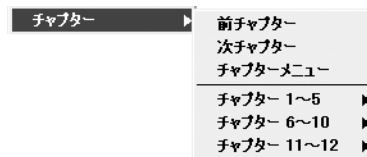
①コントロール

基本的な動作を行います。



④チャプター

複数のチャプターに分けられているディスクの場合、特定の位置へジャンプします。前チャプター、次チャプターなどから選択します(左ボタンでも同様の操作が行えます)。



②ディスク

ディスク取り出し、自動再生の設定を行います。



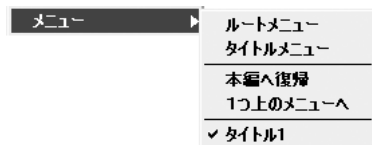
⑤オーディオ

複数の言語を選択できるディスクの場合、オーディオメニューを選択します(右ボタンでも同様の操作が行えます)。



③メニュー

ルートメニューまたはタイトルメニューからお好みの場面を選択しジャンプします。



⑥サブピクチャ

サブピクチャトラックが用意されているディスクの場合、字幕の選択が可能となります(右ボタンでも同様の操作が行えます)。



## ⑦ アングル

複数のアングルがディスクに記録されている場合、お好みのアングルを選択することができます。



## ⑧ クローズドキャプション

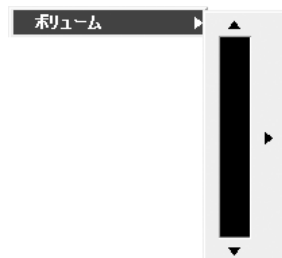
クローズドキャプション対応のDVDディスクの場合、セリフやナレーションが画面に字幕表示されます。



## ⑨ ボリューム

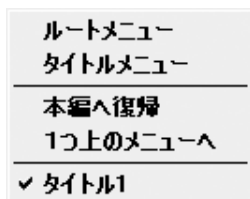
ボリュームを設定します (FEATHER2004の上下ボタンでも同様の操作が可能です)。

▶でデフォルト値に戻ります。



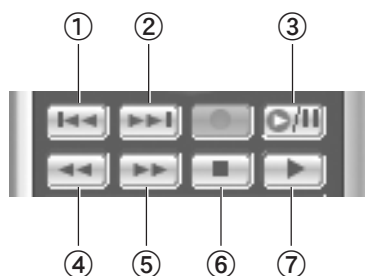
## ■ [L3]ボタン

ルートメニューまたはタイトルメニューからお好みの場面を選択しジャンプします。[L1]ボタンのメニューからも同様の操作が可能です。



## ■ DVD再生コントロールボタン

DVD再生コントロールボタンは、DVD再生に関するコントロールを行います。通常のDVDプレイヤーとほぼ同じように動作します。



### ① 前チャプターボタン

前のチャプターにジャンプします。

### ② 次チャプターボタン

次のチャプターにジャンプします。

## ③[一時停止]ボタン

再生を一時停止します。

## ④[巻戻し]ボタン

巻戻し再生を行います。

## ⑤[早送り]ボタン

早送り再生を行います。

## ⑥[停止]ボタン

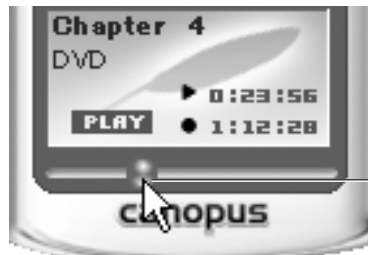
再生を停止します。

## ⑦[再生]ボタン

DVDの再生を開始します。



スライダを操作することにより、お好みの場面に移動できます。



スライダ



# 第6章

## FEATHER2004 を使いこなそう

この章では、各種の設定項目について説明します。

## 6-1 メニューリストから操作をする

操作パネルの[L1]ボタンをクリックします。



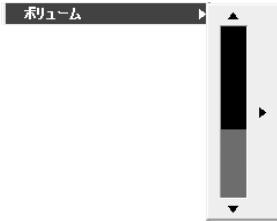
設定を調節するメニューリストを表示します。



オーバーレイスクリーン上の右クリックメニューも同じ内容を表示します。

## 視聴に関する操作をする

### [ボリューム]



ボリュームを調節します。[▶]をクリックすると初期値に戻ります。

### [ミュート]

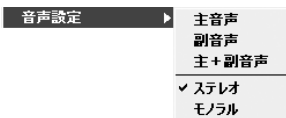
消音します。再びクリックすると元のボリュームに戻ります。

### [チャンネル]



チャンネルを切り替えます。

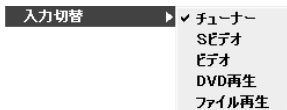
### [音声設定]



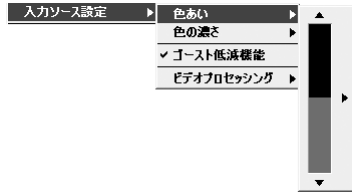
主音声、副音声、またはステレオ/モノラルを切り替えます。

### [入力切替]

入力元を切り替えます。



### [入力ソース設定]



映像の調整、ゴースト低減機能の設定をします。

### [ビデオプロセッシング]



コンポジット信号の2次元・3次元YC分離、ノイズフィルターの設定をします。

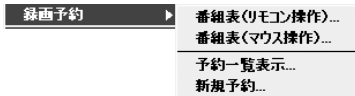


## 録画に関する操作をする

### [外部入力の自動録画]

チェックを入れると、コンポジットまたはSビデオ信号を監視し、信号を検出すると録画を開始し、信号がなくなると録画を停止します。

### [録画予約]



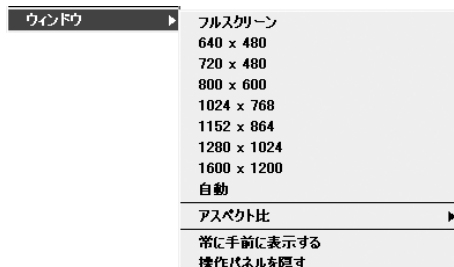
インターネット番組表の表示、録画予約の  
一覧、新規予約画面を表示します。

## 画面に関する操作をする

## [モニター]

オーバーレイ表示を行います。

## [ウィンドウ]



表示する画面サイズを選択します。

## [Direct Preview]



ダイレクトプレビューのオン、オフを選択します。

## [アスペクト比]



アスペクト比を設定します。

## そのほかの項目について

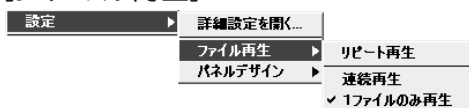
[設定]:

[詳細設定を開く]



FEATHER 設定画面を表示します (「6-2 [FEATHER設定] 画面から設定をする」101 ページ参照)。

[ファイル再生]



MEDIA LIBRARYに登録したファイルの再生方法を設定します。

[パネルデザイン]



操作パネルのデザインを選択します (「パネルデザインの設定をする」121 ページ参照)。

[FEATHERの終了]

FEATHER2004を終了します。

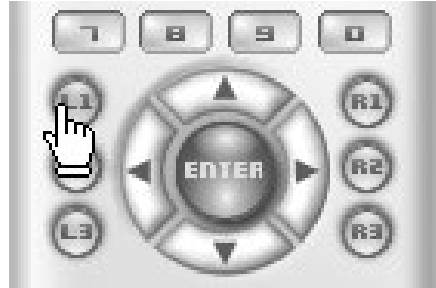
## 6-2 [FEATHER設定]画面から設定をする

## [FEATHER設定]画面について

FEATHER2004に関するさまざまな設定を行います。

1

操作パネルの[L1]ボタンをクリックします。



2

メニューリストの[設定]から[詳細設定を開く]を選択します。スクリーン上の右クリックメニューからも選択することができます。



3

左メニューで設定する項目名をクリックし、設定入力画面で設定をします。



左メニュー

設定入力画面

左メニュー

設定項目を表示します。

設定入力画面

設定内容を表示します。

6-2

[FEATHER設定]画面から設定をする



### [デフォルト]ボタン

選択中の設定入力画面の設定を、初期設定にします(ポイント参照)。

### [元に戻す]ボタン

選択中の設定入力画面の設定を、変更する直前の設定に戻します。

## 4

[OK]ボタンをクリックします。設定が変更されます。



Q インストールした直後で、とくに設定はしていませんが、テレビが白黒で表示されます。

A 不具合などがある場合、初期設定値がずれていることがあります。このような場合は初期設定値のセットをお試しください。



左メニュー

[デフォルト]ボタン

左メニューから各設定項目を選択し、[デフォルト]ボタンをクリックします。初期設定値がセットされます。

## 設定項目について

FEATHER2004に関するさまざまな設定を行います。



### ①[FEATHER設定]

バージョン情報を表示します。

### ②[TVチャンネル登録] (49ページ参照)

テレビのチューニングを設定します。

### ③[画質設定]

本製品では設定できません。

### ④[保存先] (110ページ参照)

録画、静止画キャプチャファイルの保存先を設定します。

### ⑤[タイムシフト] (111ページ参照)

タイムシフトモード時の設定を行います。

### ⑥[録画] (112ページ参照)

エンコードの設定、ファイル拡張子の設定をします。

### ⑦[DVD再生] (117ページ参照)

DVD再生の設定を行います。

### ⑧[音量/ミュート] (118ページ参照)

音量の調節、ミュート(消音)を行うデバイスを選択します。

### ⑨[ファイル関連付け] (119ページ参照)

FEATHER2004と関連付けるファイルの拡張子を選択します。

### ⑩[パネルデザイン] (121ページ参照)

TV視聴、ファイル再生、DVD再生時のパネルデザイン(スキン)を変更します。

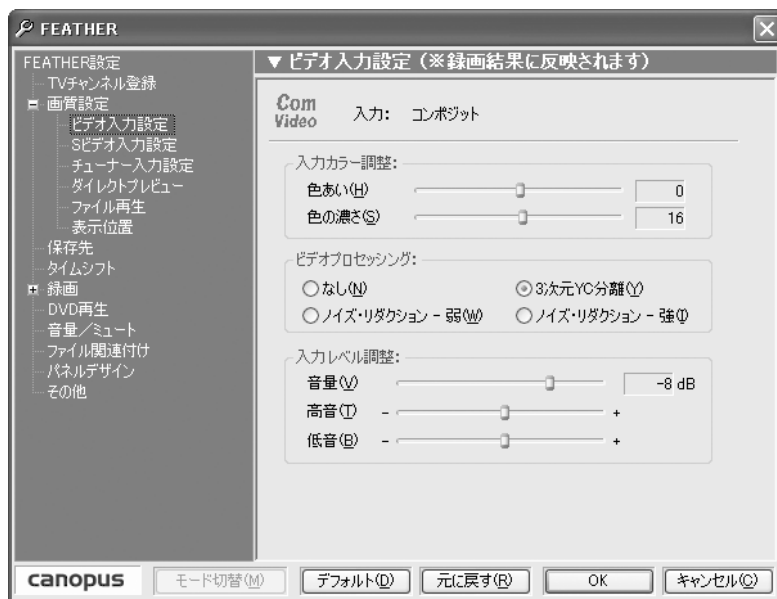
### ⑪[その他] (120ページ参照)

VideoGateモード、スキップボタン設定、ファイル再生、トラブルシューティングに関する設定を行います。

## ■ [ビデオ入力設定]



[ビデオ入力設定]は録画結果に反映されます。デフォルト(初期設定)の設定  
でご使用されることを推奨します。



### 入力カラー調整：

#### [色あい]、[色の濃さ]

入力映像を調整します。スライダを左右に  
移動させ、表示状態を調整します。

### ビデオプロセッシング：

コンポジット信号の3次元YC分離、ノイズ  
リダクションを設定します。

### 入力レベル調整：

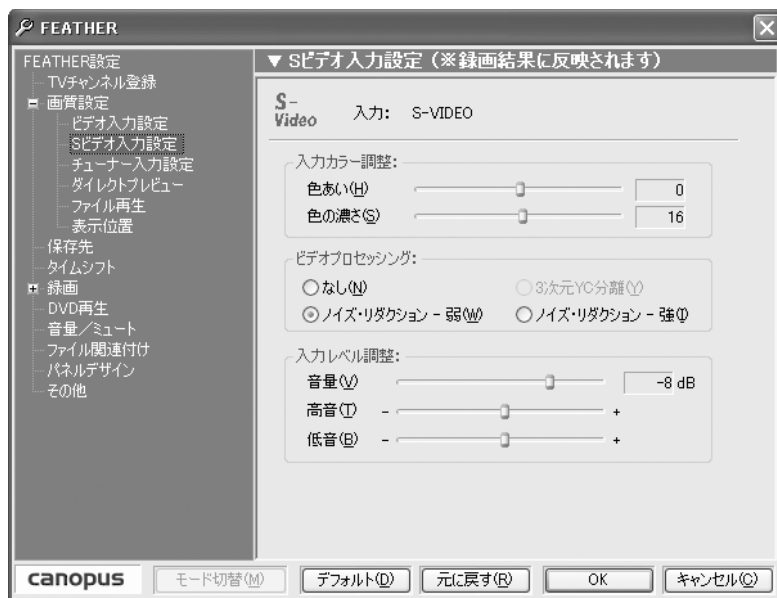
#### [音量]、[高音]、[低音]

入力音量および音質を調整します。  
スライダを左右に移動させ、お好みの音量  
および音質に調整します。

## ■ [Sビデオ入力設定]



[Sビデオ入力設定]は録画結果に反映されます。デフォルト(初期設定)の設定でご使用されることを推奨します。



### 入力カラー調整： [色あい]、[色の濃さ]

入力映像を調整します。スライダを左右に移動させ、表示状態を調整します。

### ビデオプロセッシング： ノイズリダクションを設定します。

### 入力レベル調整： [音量]、[高音]、[低音]

入力音量および音質を調整します。スライダを左右に移動させ、好みの音量および音質に調整します。



Q: Sビデオとコンポジット、どちらの入力を使えばいいですか？

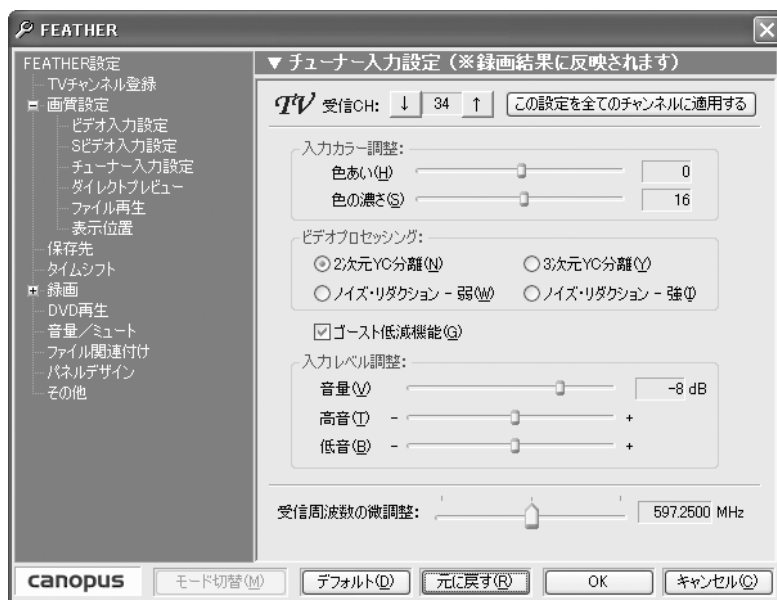
A: ご使用のビデオデッキに高性能なY/C分離機能が搭載されている場合はSビデオ入力が効果的です。



## ■ [チューナー入力設定]



[チューナー入力設定]は録画結果に反映されます。デフォルト(初期設定)の設定でご使用されることを推奨します。



### 入力カラー調整：

#### [色あい]、[色の濃さ]

録画映像を調整します。スライダを左右に移動させ、表示状態を調整します。

### ビデオプロセッシング：

3次元YC分離、ノイズリダクションを設定します。

### [ゴースト低減機能]

ゴーストリデューサーを設定します(ポイント参照)。

### 受信周波数の微調整：

受信周波数を微調整します。

受信状態を確認しながら、スライダを左右に移動させます。

※ 受信状態が悪い場合は、アンテナやアンテナ線との接続などをご確認ください。

### 入力レベル調整：

入力音量および音質を調整します。

スライダを左右に移動させ、音質および音量を調整します。



### ゴースト低減機能

テレビ信号に含まれるゴースト検出信号の遅延と減衰を検出し10個の回路に設定(10Tap デジタルゴーストリデューサー)をすることで、ゴーストを低減します。

※ ゴースト除去用の信号が正常に受信できない地域では効果が無い場合があります。

※ 10個以上のゴーストは原理的に低減できません。

※ ゴースト低減機能は、チャンネル選択後1秒～2秒後に機能し、画像が安定するまで1分程度かかります。

## ■[ダイレクトプレビュー]



[ダイレクトプレビュー]の設定は録画結果に反映されません。

**ダイレクトプレビューモード：**

USB2.0の高速転送を利用し、パソコンに表示されるテレビ映像と実放送との遅延の差を限りなく小さくします(ポイント参照)。**[オーバーレイ画質設定:]**、**[オーバーレイソースサイズ:]**は、ダイレクトプレビューモードをオンにした場合に設定することができます。

※プログレッシブ機能は動作しません。

**オーバーレイ画質設定：**

**[明るさ]**、**[コントラスト]**、**[色の濃さ]**

スライダを左右に移動させ、適切な表示状態になるように調整します。

**オーバーレイソースサイズ：**

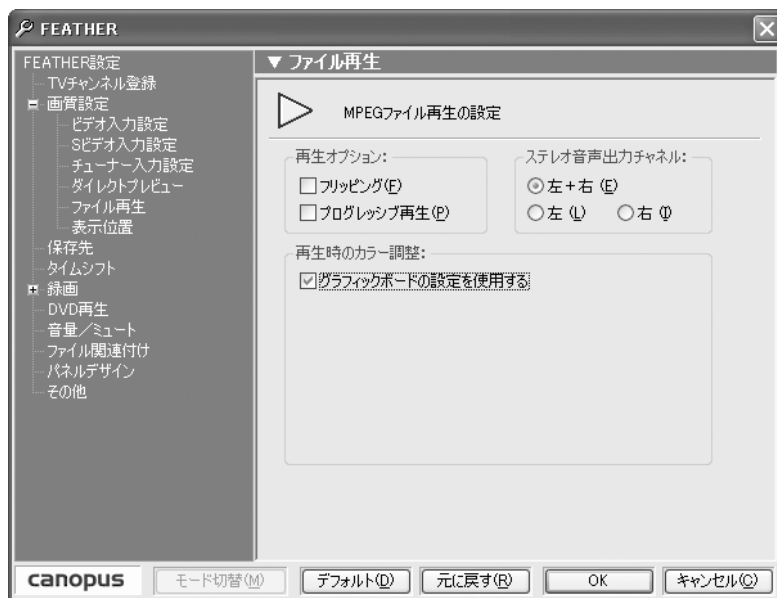
オーバーレイのサイズを設定します。



ダイレクトプレビューをオンにすると、有効画素720x480のビデオデータを360x480または240x480に縮小しMPEG圧縮を行わずにビデオデータのみをUSB経由でパソコンに転送して再び720x480の映像に拡大して表示するモードに設定されます。音声はMTU本体背面のステレオミニジャックから出力されます。

ダイレクトプレビューをオフにすると、MPEG圧縮エンコードされたビデオオーディオデータをUSB経由でパソコンに転送し、パソコン側で伸張(デコード)して表示するモードに設定されます。音声はサウンドカード(WAVE出力)から出力されます。

## ■ [ファイル再生]



再生オプション：

### [フリッピング]

ティアリング(動きのある部分が横線ですれて見える)が出る場合に設定します。

### [プログレッシブ再生]

プログレッシブ再生を行います(ポイント参照)。

ステレオ音声出力チャンネル：

音声出力を行うチャンネルを設定します。

再生時のカラー調整：

### [グラフィックボードの設定を使用する]

デフォルトで設定されています。



偶数・奇数フィールドを個別に1/60秒間隔で更新し、フィールドを補間して表示を行います。非インタレース映像(例:MPEG1およびMPEG2のSIFサイズのもの)では機能しません。

## ■ [表示位置]



無効領域幅の設定：

TV視聴時：、ファイル再生時：

無効領域の幅を設定(0～10%)します。

設定した無効領域幅は削除され、有効表示部分が拡大します。

## 保存先の設定をする

録画ファイル、静止画ファイルの保存先を設定します。

### ■ [保存先]



#### 録画：

録画ファイルの保存フォルダを設定します。

#### 静止画キャプチャ：

静止画ファイルの保存フォルダを設定します。

#### [保存ファイル名]

ファイル名(自動生成されるファイル名の先頭に追加されます)を設定します。



- [参照] ボタンをクリックし、[フォルダの参照] 画面からフォルダを設定します。
- [保存先] に直接キーボードから入力することができます。

## タイムシフトの設定をする

### ■[タイムシフト]



#### タイムシフトモード：

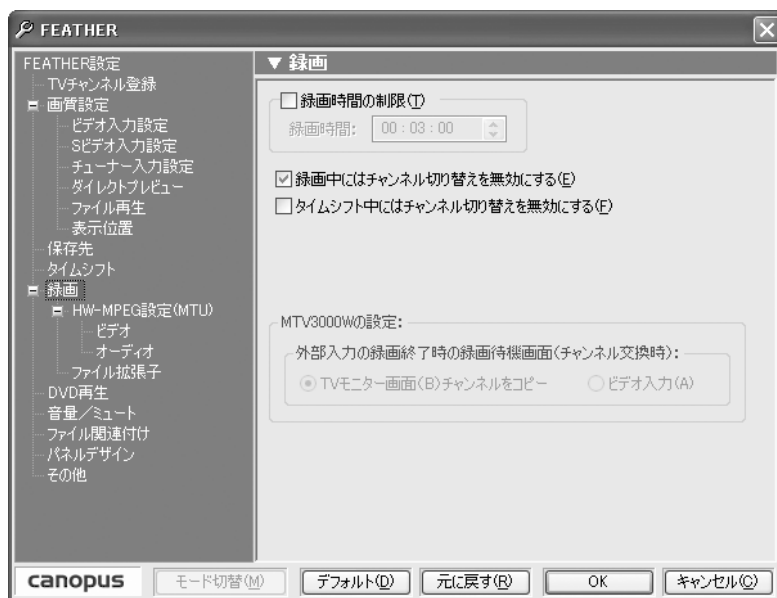
[標準モード]では、タイムシフトのためのバッファは、タイムシフトが終わると消去されます。また、タイムシフトが可能な時間は、[ディスク容量から自動計算する]、[指定する]のどちらかから選択します。[録画モード]では、タイムシフトのために録画を行います。

#### バッファを作成する場所：

タイムシフトのためのバッファデータを保存するフォルダを設定します。

## エンコードの設定をする

### ■ [録画]



#### 【録画時間の制限】

録画時間の上限を設定します。

#### 【録画中にはチャンネル切り替えを無効にする】

録画中の入力元、チャンネルの切り替えを禁止します。

#### 【タイムシフト中にはチャンネル切り替えを無効にする】

タイムシフト中のチャンネル切り替えを禁止します。

## ■ [HW-MPEG設定 (MTU)]



MPEGの設定については「7-1 各設定項目をもっと詳しく」124ページを参照してください。



画質：



画質を選択します。

### [MPEG2高画質]

画像サイズ704×480、ビットレート最大9500kbps平均8000kbps (VBR) で録画します。

### [MPEG2標準]

画像サイズ704×480、ビットレート最大4500kbps平均4500kbps (VBR) で録画します。

### [MPEG2長時間]

画像サイズ352×480、ビットレート最大6000kbps平均3000kbps (VBR) で録画します。

### [MPEG2簡易]

画像サイズ352×240、ビットレート最大4000kbps平均2000kbps (VBR) で録画します。

### [MPEG1]

画像サイズ352×240、ビットレート最大1800kbps平均1500kbps (VBR) で録画します。

### [お好み1～5]

[ビデオ設定:]、[オーディオ設定:]をカスタマイズすることができます。

※ MPEGに関する知識が必要です。通常は [MPEG2高画質]、[MPEG2標準]、[MPEG2長時間]、[MPEG2簡易]、[MPEG1]から選択してください。



## ■ [ビデオ] – HW-MPEG設定の詳細 – (MTU)



- ・ この項目は、[HW-MPEG設定 (MTU)]の[画質]で[好み1~5]を選択した場合に、設定することができます。
- ・ [HW-MPEG設定 (MTU)]で設定した内容により、設定可能な項目が異なります。



MPEGの設定については「7-1 各設定項目をもっと詳しく」124ページを参照してください。



### ビデオ形式：

録画時のデータファイル形式の設定を行います。

### ビットレート：

#### [CBR、VBR]

ビデオデータ量をほぼ一定に保つ場合はCBRを選択し、平均のビットレートを設定します。ビデオデータ量の変動を許容する場合はVBRを選択し、ビットレートの上限も設定します。

### GOPパターン：

マニュアルを選択すると、[ピクチャ枚数]、[周期]を設定することができます。

#### [ピクチャ枚数]

ひとつのGOPに含まれるフレームの数を設定します。

#### [周期]

ひとつのGOPに含まれるIフレームとPフレームの数を設定します。

### [画像サイズ]

録画データを記録するときの、1画面あたりのピクセル数を設定します。

### [アスペクト比]

録画データのアスペクト比を選択します。映像のアスペクト比に合わせてください。

## [スタンダード]

テレビジョン方式の設定です。  
[NTSC]のみ選択できます。

GOPオプション：（後記ポイント  
参照）

## [GOP完結]

通常は使用しません。エンコードしたMPEG  
ファイルに何らかの処理を行う場合に選  
択します。



## GOPオプション

当社製MpegCraft LEなどで編集する場合、GOPオプションにチェックを入  
れることを推奨します。

## ■ [オーディオ] - HW-MPEG設定の詳細 - (MTU)



- ・ この項目は、[HW-MPEG設定 (MTU)]の[画質]で[お好み1~5]を選択した場  
合に、設定することができます。
- ・ [HW-MPEG設定 (MTU)]で設定した内容により、設定可能な項目が異なります。



MPEGの設定については「7-1 各設定項目をもっと詳しく」124ページを参照して  
ください。



音質：

## [サンプリングレート]

32kHz、44.1kHz、48kHzから選択します。

## [オーディオビットレート]

圧縮比率を設定します。

形式：

録画データの音声の圧縮形式を設定し  
ます。Dolby Digitalアップグレード(オ  
プション)を行うと、「Dolby Digital」が  
選択できるようになります(後記ポイン  
ト参照)。

チャンネル：

### [ステレオ]

LチャンネルとRチャンネルの信号にある程度の相関がある場合に選択します。音楽などのステレオ信号をエンコードする場合に選択します。

### [デュアル]

LチャンネルとRチャンネルの信号に相関

がほとんどない場合、各チャンネルに全く別の音を記録する場合などに選択します。

### [モノラル]

1チャンネルだけのオーディオ信号を記録します。Lチャンネルの入力端子に入力された信号だけが記録されます。



## Dolby Digital (AC-3オーディオ圧縮)

- ・本製品のアップグレードキットをご使用になると、AC-3(Dolby Digital Consumer Encoder (AC-3) 準拠)オーディオ圧縮(MPEG2エンコード)に対応することができます。
- ・アップグレードキットをご使用される場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム(Windows2000環境ではプログラム)]→[Canopus FEATHER]と進んで[MTU Dolby Digital Upgrade Setup]をクリックします(引き続き画面の指示にしたがってアップグレードを行ってください)。

## ■[ファイル拡張子]



### MPEG1：

MPEG1のシステムストリーム、エレメンタリストリーム(ビデオ、オーディオ)の拡張子を設定します。

### MPEG2：

MPEG2のプログラムストリーム、エレメンタリストリーム(ビデオ、オーディオ)の拡張子を設定します。

## DVD再生の設定をする

## ■ [DVD再生]



## [DVDナビゲータ選択]

InterVideo DVDナビゲータ、またはMicrosoft DVDナビゲータから選択します。

## [DVDドライブ]

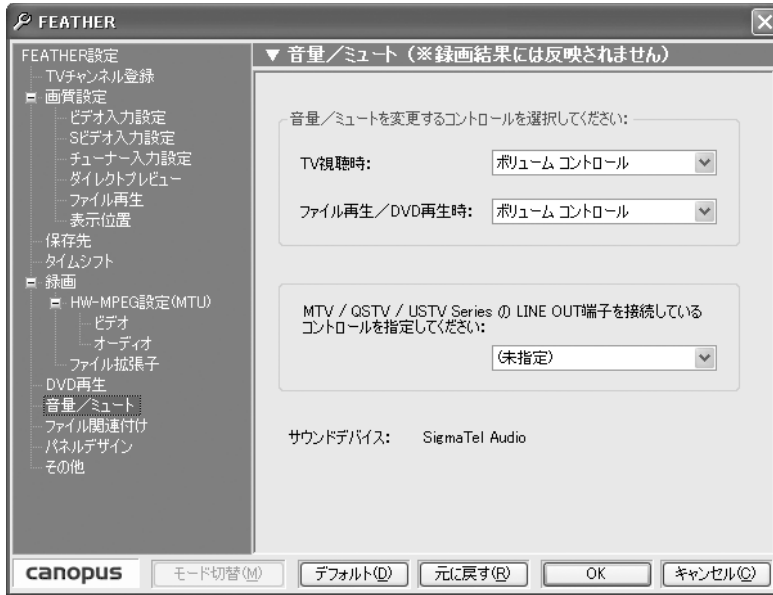
DVD再生時に優先的にDVDボリュームを検索するドライブを指定します。

## [DVD Videoの自動再生を有効にする。]

DVDモードへの切替、またはFEATHER2004本体のイジェクト/クローズボタンを使用した場合に自動的に再生を開始します。

## 音量の設定をする

### ■[音量／ミュート]



音量／ミュートを変更するコントロール選択してください：  
[TV視聴時]、[ファイル再生/DVD再生時]

ボリュームコントロール、WAVE、SW シンセサイズ、CDプレイヤー、マイク、補助入力、ライン入力、電話から選択します。

※ お使いのサウンドカードによって選択できる項目が異なります。

MTV/QSTV/USTV SeriesのLINE OUT 端子を接続しているコントロールを指定してください：

WAVE、SW シンセサイズ、CDプレイヤー、マイク、補助入力、ライン入力、電話から選択します。

※ お使いのサウンドカードによって選択できる項目が異なります。

## そのほかの設定について

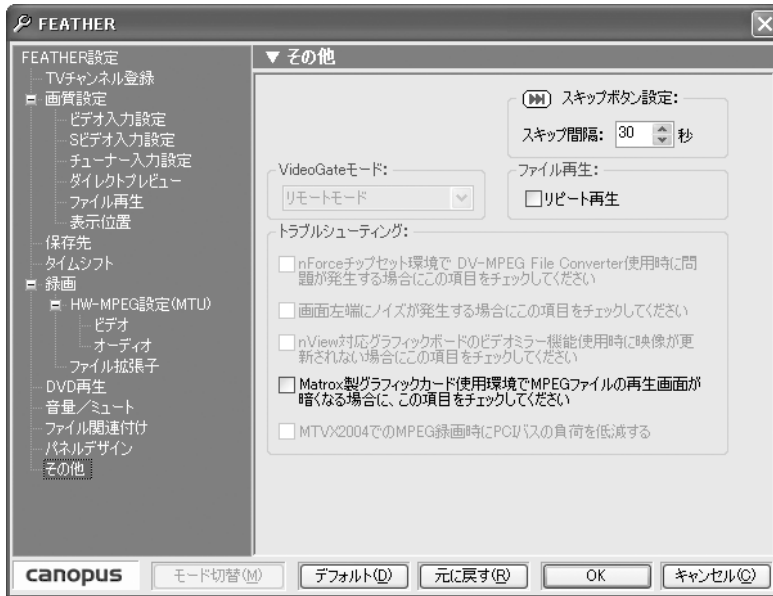
## ■[ファイル関連付け]



[FEATHERと関連付けるファイル  
の拡張子を選択してください。]

FEATHER2004と関連付けるファイルの拡張  
子を選択します。

## ■[その他]



### [スキップボタン設定]

タイムシフト、追っかけ再生、ファイル再生時のスキップ間隔を設定します。

### [VideoGateモード]

VideoGate 1000とCRMシリーズリモコンがある場合に設定することができます。

#### [リモートモード]

VideoGate 1000からテレビ出力を行います。テレビ画面上に表示されるOSDメニューを見て、CRMシリーズリモコンで操作することができます。

#### [従来モード]

CRMシリーズリモコンでFEATHER2004を操作することができます。テレビ出力を行います。

### [ファイル再生]

ファイル再生時にリピート再生を行います。

### [トラブルシューティング]

必要に応じてチェックしてください。

## パネルデザインの設定をする

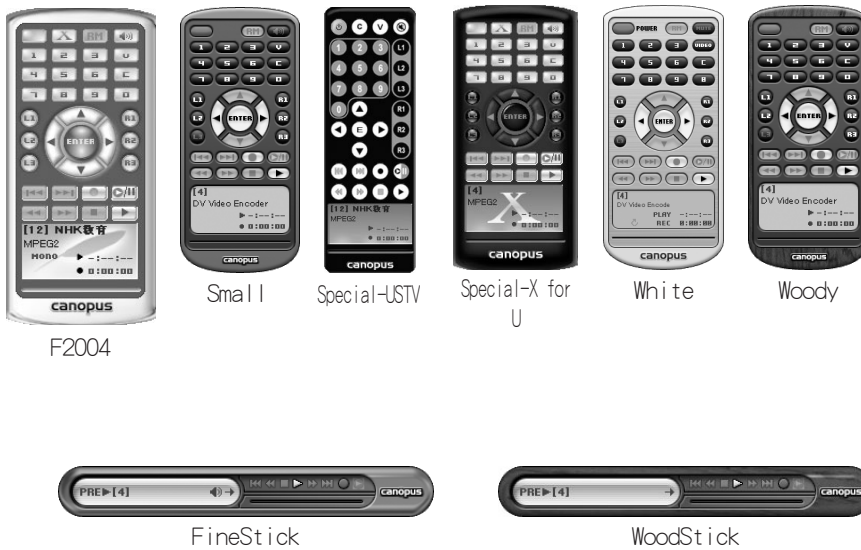
### ■[パネルデザイン]



デザイン選択：

[TV視聴時]、[ファイル再生]、[DVD再生]

パネルデザインを選択します。



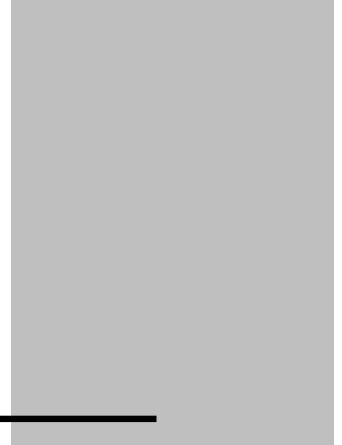




# 第7章

## 付録

---



## 7-1 各設定項目をもっと詳しく

### GOP完結

これはMPEGの規格として定められた用語ではありませんが、DVDのVOBと呼ばれる構造に似た考え方を当社で取り入れたものです。

プログラムストリームでは、ビデオやオーディオのデータはパケット化されています。それをパックと呼びます（一般的には複数のパケットの集まりにヘッダを付けたものがパックですが、MTUの出力データでは、1パックには1パケットだけが入ります）。MTUの場合、1パックの長さは、2048byte固定です。一方、ビデオのデータ量はフレームごとに変動します。従って、無作為にビデオデータをパケットに分割すると、GOPの境界と、パックの境界が必ずしも整合するわけではありません。そこで、GOPの境界と、パックの境界を意識的に整合させることにより、データの処理を行いやすくする必要があります。それが、GOP完結モードです。ただし、効率の点では非完結モードの方が若干効率が良くなります。

通常の使用の場合には、GOP完結のチェックマークは付けないで使用してください。

エンコードしたMPEGファイルを使用し、何らかの処理を行う場合には、完結モードにチェックを付けて使用すると処理を行い易くなります。

この選択によって、プログラムストリームのデータの構造が次のように変わります。

#### (1) GOP完結モード(チェックマーク付き)

1つのGOP分のビデオデータおよびそれに付随するオーディオデータを格納するパックの集まりを、1完結単位と呼びます。

1完結単位の中では、1つのGOPが完結しており、他のGOPのデータは入りません。パックの途中でその単位に入るべきデータが完了した場合は、パックの残りの部分にはパディングデータ(データサイズを調整する目的で入れられる情報を持たないデータ)が入れられることになります。

各完結単位の最初のパックには、システムヘッダが付けられます。

#### (2) 非完結モード(チェックマークなし)

完結単位のような区切りは意識せず、パックの途中でGOPが終了した場合でも、次のGOPのデータがそのパックの残りの部分に続けて入ることになります。

システムヘッダは、全体のなかで最初のパックにのみ付けられます。

### ビットレート-ビデオ-

ビデオデータのビット量を指定します。ビットレートを上げると画質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。数値は、1秒間の録画に必要なデータサイズ(ビット単位)です。バイト数に換算するには、8で割ってください。例えば8,000,000bps(=8Mbps)と指定すると、1秒あたり8Mビット、すなわち1Mバイトですから、1分間の録画には1Mバイト×60秒=60Mバイト以上の空きディスク容量が必要になります。実際にはオーディオデータも同時に記録されるため、その分のデータ量も加算されます。

## スタンダード (NTSC、PAL)

NTSC : 日本、北米などで使用されているテレビジョン方式です。

PAL : ヨーロッパ・中国などで使用されているテレビジョン方式です。

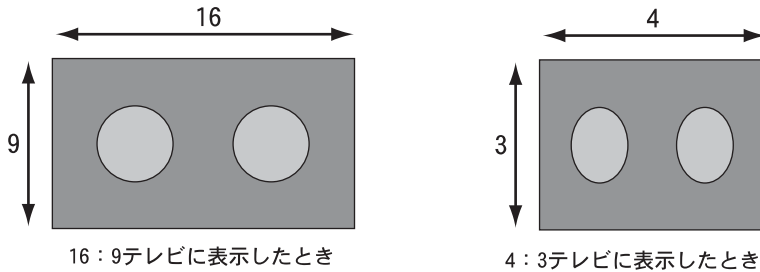
※MTU2400Fの動作保証は、NTSCのみです。

## アスペクト比 (16 : 9、4 : 3)

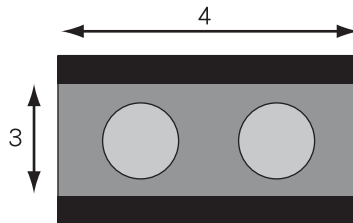
現在ビデオ画像のアスペクト比には、4 : 3 または 16 : 9 が使用されています。

どちらのビデオを入力するかを設定してください。

ここでの16 : 9のビデオとは、TVに表示した時に、下図のように表示されるビデオ信号のことを指します(2つの円は、真円を撮影したものを表しています)。



4 : 3のTVに次のように表示されるビデオは、16 : 9の映像を4 : 3TV用に変換したものですので、このようなビデオはビデオ全体としてはあくまで4 : 3です。



16 : 9の映像の上下に黒い帯状の部分を入れて、4 : 3テレビ用にしたもの

アスペクト比の設定にかかわらず、エンコードされる1ラインあたりのピクセル数は変わりません。あくまで720ドットです。エンコード時の動作の違いは、作られるMPEGストリーム内のヘッダーに、16 : 9の情報が入るか、4 : 3の情報が入るかだけです。

---

## レートコントロール(CBR、VBR)

---

CBRはビデオのデータ量をほぼ一定に保ちます(CBR:Constant Bit Rate)。

VBRはビデオのデータ量が変動します(VBR:Variable Bit Rate)。

MPEGは、急にシーンが変わったり、細かいパターンが多く含まれる映像などは圧縮しにくい、という性質があります。CBRでは、そのような場面でも一定のデータ量まで圧縮しようとするので、そのような場面の画質が他の場面に比べて低下します。VBRはそれを緩和するため、そのような場面では圧縮結果のデータ量が平均より多くなるようにし、その代わりに他の場面でのデータ量を平均より少なくすることで、トータルのデータ量を増やさずに、各場面の画質をできるだけ均一に保つように考えられた方式です。

そのためVBRの場合は、ビットレート(目標とする平均のビットレート)と、最大ビットレート(データ量が多くなった部分でも、これを越えない上限値)の2つを設定できるようになっています。

---

## GOPパターン(IBBP、Iframe)

---

ビデオ映像は、多くの場合、時間の経過と共に画像が少しずつ変化していきます。

MPEGではそのことを利用し、前後の画像内によく似た部分があれば、その情報を使用することで、全てのデータをそのまま記録しないで済むように考えられています。従って、それまでの画像がなければ、次の画像を構成することができません。

ただ、何フレームかに1枚の割合で、前後の画像の情報がなくとも、独立して画像が再現できる画像が含まれています。これをIピクチャと呼びます。

これに対し、時間的に前の画像の情報を利用して少ないデータから再現できるように記録されている画像をPピクチャと呼びます。

また、時間的に前の画像と、時間的に後の画像の両方の情報を利用して、さらに少ないデータから再現できるように記録された画像もあり、これをBピクチャと呼びます。

これらI/B/Pの3つのピクチャをひとまとめにしたパターンをGOP(Group Of Picture)パターンと呼びます。

ただし、IBBPは、前後の画像の情報を使用するため、圧縮データの途中で切り離して他の部分のデータに接続することができないので、記録した画像の編集には向きません。

I frame(周期=1、ピクチャ枚数=1の状態)は、全てのフレームをIピクチャとして記録します(I frame only)ので、編集が容易にできます。I frame only のMPEGファイルを編集できるソフトウェアをご使用になる場合は、I frameの設定をしてください。

ただし、I frameは、同程度の画質を維持するためにはIBBPに比べてデータ量を大きくすることが必要になります。

本製品では、「マニュアル」をオンにし、「ピクチャ枚数(1~17)」および「周期(1~3)」で設定を行います。

---

## 解像度

---

ビデオをエンコードする際の1画面を構成するピクセル数です。大きいほど解像度が高くなりますが、データ量は大きくなります。

720×480は、フルサイズです。

704×480は、民生用プレイヤーで使用されているサイズです。

352×480は、一般にHalf-D1と呼ばれているピクセルサイズです。

352×240は、一般にSIFと呼ばれているピクセルサイズです。MPEG1を選択した場合には、このサイズ以外は選択できません。

## サンプリングレート

オーディオ信号の標本化周波数を指定します。44.1kHzもしくは48kHzを選択できます。44.1kHzはオーディオCDで採用されている値、48kHzはDVDで採用されている値です。ビデオがMPEG1の場合には44.1kHz、ビデオがMPEG2の場合には48kHzのオーディオと組み合わせるのが適切です。

## チャンネル

### ステレオ

左チャンネルと右チャンネルの信号にある程度の相関がある場合に、効率のよいオーディオエンコードを行います。音楽などのステレオ信号をエンコードする場合にご使用ください。

通常の音楽などの信号は、左チャンネルと右チャンネルの信号が、かなり似ています。その場合には、各チャンネルを独立してエンコードするのではなく、似通った部分があるという性質を活用してエンコードした方が、より高品質の圧縮が可能です。この設定では、そのような圧縮を行います。

### モノラル

1チャンネルだけのオーディオ信号を記録します。左チャンネルの入力端子に入力された信号だけが記録されます。

### デュアル

左チャンネルと右チャンネルの信号に相関がほとんどない場合に使用します。各チャンネルに全く別の音を記録する場合などにご使用ください。

## 形式

### Linear PCM

非圧縮のリニアPCMデータを2チャンネル記録します。サンプリングレートは48kHz固定となります。

### Layer 2

MPEGオーディオのレイヤ2規格に基づいて、オーディオ信号を圧縮します。チャンネル構成については、「チャンネル」で指定します。



オプションの『MTU2400 Upgrade kit』(別売)を使用することでDolby Digital出力が可能となります。

## オーディオビットレート

オーディオをMPEGオーディオ規格で圧縮する場合の、圧縮後のデータ量を1秒あたりのビット量で指定します。

音質とデータ量の兼ね合いから、通常192、224、256のいずれかを選択してください。

---

## デジタル3次元YC分離

---

TVチューナーから出力される信号はコンポジット信号と言って、ひとつの信号に明るさの信号(Y)と色の信号(C)が混合された状態になっています。

コンポジット信号をパソコンで扱うRGBのデータに変換するためには、まずこのYとCのデータを分離する必要があります。この分離方法には3つの方式があります。

### 1次元YC分離

ドットの左右方向(=周波数特性)の関連を利用してYCを分離する方法です。

アナログ回路での再現が簡単のため旧式のTVで多く使用されていました。

(最近ではデジタル化したものもあります)

若干解像度が低いことがデメリットとなりますが、色ノイズが出ることはありません。

### 2次元YC分離

ドットの上下の関連を利用してYCを分離する方法です。一般的にはくし型フィルタと呼ばれています。1ラインのメモリが必要になります。かつてTVセットではガラス遅延素子を使用してアナログ的に処理を行ってききましたが、現在はデジタルの1ラインメモリが使用されます。ドットの上下の関連性が低い場合(黒バックに白の斜め線等)に色ノイズが発生しますが、解像度を高くできるため、最近では多く採用されている方式です。

### 3次元YC分離

同じ位置に表示されているドットの時間関係からYCを分離する方法で、現在考えられる手法ではもっとも高画質の処理です。時間軸の相関関係の強い静止部分は時間軸で、時間軸の相関関係の低い動画部分は上下の関係(2次元)を利用して処理を行います。デジタルのフレームバッファと動きの検出機構が必須となります。

※MTU2400Fでは、2次元と3次元のYC分離をご使用いただけます。

---

## デジタル3次元デジタルノイズリダクション

---

従来のノイズリダクションは1次元または2次元の方向で、画像全体の周波数特性を落とす(ぼやっとさせる)方向でノイズの除去を行っていたため、ノイズのない部分にも影響が出てしまうという問題がありました。MTU2400FXで採用した3Dデジタルノイズリダクションでは、ノイズの特性(時間軸の関連性が低い)からノイズを検出してノイズ除去を行うため、画像への影響は最小限に抑えられています。またMPEG圧縮には大敵であるノイズを低減することにより、圧縮率の向上にも貢献します。

※構造上すべてのノイズに対応できるわけではありません。

---

## デジタル3Dフレームシンクロナイザ

---

MPEGエンコードチップは、その特性上、ノイズなどによって乱れた同期信号が入力されると、場合によっては継続した処理ができなくなってしまうという問題があります。

これを解決するために1画面分のメモリをバッファとして使用することで、入力信号の同期信号が乱れても、MPEGエンコードチップには常に安定した同期信号を供給し、処理の中断の可能性を低く抑えています。

※外部信号への同期機能(外部同期入力)はありません。

※デジタル3Dフレームシンクロナイザは、常にONの状態になっています。

---

## デジタルラインタイムベースコレクタ

---

横方向の揺らぎ(ジッター)の強い画像を検出し強力で補正。古いビデオライブラリのキャプチャーにも威力を発揮します。

※信号の品質によっては補正できない場合もあります。

※デジタルラインタイムベースコレクタは常にONの状態になっています。

---

## デジタルAGC(Auto Gain Control)

---

設定が非常に難しかった入力ビデオレベルの調整をデジタルで完全自動化。同期信号を基準にするために、画像内容の影響は全く受けません。アナログのビデオ信号を余すところ無くデジタルに変換します。

※デジタルAGCは、常にONの状態になっています。

---

## 10Tapデジタルゴーストリデューサー

---

TV信号に含まれるゴースト検出信号の遅延と減衰を検出し10個の回路に設定をすることで、ゴーストを軽減し、見やすい画面を提供します。

※ゴースト除去用の信号が正常に受信できないような地域では効果が無い場合があります。

※10個以上のゴーストに関しては原理的に軽減できません。

※最初にゴースト軽減機能が働くまで1～2秒、収束までには1分程度かかります。

---

## ダイレクトプレビュー

---

USBデバイスから非圧縮digital video data(MPEGエンコードされていないvideo data)をアイソクロナス転送し、モニタウィンドウにオーバーレイ表示します。USBデバイス側では、ビデオデータを360ピクセル×480ラインまたは240ピクセル×480ラインに間引いて出力を行います。

※USB 1.1では、帯域幅の制限により使用できません。



## 7-2 ハードウェア仕様

TV 受信部		<p>NTSC (日本地域対応)</p> <p>音声多重 / ステレオ放送対応</p> <p>受信可能チャンネル VHF 1 ~ 12、UHF 13 ~ 62、CATV C13 ~ C63</p> <p>(専用の受信機等が必要となるCATVは受信できません)</p>
ビデオ 入力部	ビデオ入力信号	<p>NTSC</p> <p>※不正なビデオ信号 (劣化したビデオテープを再生した場合、長期間使用したビデオデッキで再生した場合など) は録画できません。</p> <p>※コピープロテクトされているビデオ信号を録画することはできません。</p>
	ビデオ入力端子	<p>S 端子 x 1</p> <p>(Sビデオケーブルを接続。付属のピンジャック変換コネクタによりコンポジットビデオケーブルを接続できます)</p>
	入力映像調整	<p>Hue, Saturation</p> <p>※エンコード結果に反映されます。</p>
	オーバーレイ表示	<p>TV 受信映像、ビデオ入力映像、再生映像を PC 画面にオーバーレイ表示可能 (ビデオ信号出力機能はありません)</p>
	オーバーレイ映像調整	<p>Brightness, Contrast, Saturation</p> <p>※エンコード結果には反映されません</p>
オーディオ 入出力部	オーディオ入力	<p>RCA ピンジャック x 1 (ステレオ 1 系統)</p> <p>入力インピーダンス 48k <math>\Omega</math> (typ)</p> <p>フルスケール入力レベル 2Vrms</p>
	オーディオ出力	<p>3.5 <math>\phi</math> ステレオミニジャック</p> <p>適合負荷インピーダンス 10k <math>\Omega</math> 以上</p> <p>フルスケール出力レベル 2Vrms</p> <p>※ダイレクトプレビュー使用時のみオーディオ出力されます。</p>
	サンプリング 周波数	44.1kHz, 48kHz
	データ幅	16 ビット
MPEG エンコード部	ビデオ圧縮	<p>ISO/IEC 13818-2 (MPEG2)</p> <p>ISO/IEC 11172-2 (MPEG1)</p>
	MPEG2 時のプロ ファイルレベル	MP@ML
	ビデオ画素数	<p>720x480 (Standard)</p> <p>704x480 (Standard)</p> <p>352x480 (Half)</p> <p>352x240 (SIF)</p>
	ビデオビット レート	<p>MPEG2 Standard 4M ~ 15M ビット / 秒</p> <p>MPEG2 Half/SIF 2M ~ 8M ビット / 秒</p> <p>MPEG1 1.168M ~ 1.8M ビット / 秒</p> <p>VBR/CBR サポート</p>

MPEG エンコード部	オーディオ圧縮	MPEG1 Layer 2/ リニア PCM
	多重化	ISO/IEC 13818-1 MPEG2 プログラムストリーム ISO/IEC 11172-1 MPEG1 システムストリーム
消費電力 (最大)		動作時 20W (ACアダプタから供給) 待機時 0.5W
USB バスパワー		250mA
使用温度範囲		5 ~ 45°C (結露なきこと)
ユニットサイズ(mm)		35.0(W) x 150.0(H) x 228.3(D) (突起物を除く)
本体重量		約 600g

## 7-3 索引

### C

CRMシリーズリモコンでの操作 44

### D

DVD再生の設定 117

### F

FEATHER設定 101

### M

MPEGマニュアル設定 67

MTU2400Fでできること 40

### A

アスペクト比 99, 125

### E

エンコードの設定 112

### O

オーバーレイ画質設定 (ダイレクトプレビュー) 107

追っかけ再生 60

音声設定 97

音量調整 47

音量の設定 118

### カ

外部入力の自動録画 98

各部分の名称と機能

FEATHER2004 41

MTU2400ユニット 32

画面サイズ (ウィンドウ) 99

画面上での音量、チャンネル等の操作 44

### コ

ゴースト低減機能 106

### サ

サーバ接続設定 18

### シ

受信周波数の微調整 106

### ス

スキップ再生 58, 61

スキップボタン設定 120

### ソ

操作パネル 41

### タ

タイムシフトのしくみ 55

タイムシフトの設定 111

ダイレクトプレビュー 107

### チ

チャンネル 97

チャンネル変更 48

### テ

デバイス設定 19

### ト

トラブルシューティング 120

## ニ

- 入力カラー調整 (Sビデオ) 105
- 入力カラー調整 (チューナー) 106
- 入力カラー調整 (ビデオ) 104
- 入力切替 97

## ハ

- バージョン情報 103
- パネルデザインの設定 100, 121

## ヒ

- ビデオプロセッシング 97
- 表示位置 109
- 標準モード 55

## フ

- ファイル拡張子 116
- ファイル関連付け 119
- ファイルの再生方法 100
- ファイル名の詳細設定 68
- フリッピング 108
- プログレッシブ再生 108

## ホ

- 保存先の設定 110
- ボリューム 97

## ミ

- ミュート 97

## メ

- メニューリスト 96

## モ

- モニター 99

## ヨ

- [予約一覧]画面 73

## ロ

- 録画 48
- 録画モード 56

